

(こまったときの・_・。))
指導付き教科書ワーク

これで教科書完璧

算数ワーク

小学5年生-上

問題

ダウンロードは
<https://waseijyuku.jp/>

和清学習会

番号	もくじ(上・下)	枚数
1~3	整数と小数	3枚
4~10	体積	7枚
11~12	比例	2枚
13~17	小数のかけ算	5枚
18	式と計算(計算のきまり)	1枚
19~23	小数のわり算	5枚
24~26	小数のかけ算・わり算	3枚
27	式と計算(計算の間の関係)	1枚
28~34	合同な図形	7枚
35	考えを広げよう(人文字)	1枚
36~41	整数(倍数と約数)	6.5枚
42~46	分数①-(たし算・引き算)	5枚
47	考えを広げよう(同じものに目をつけて)	1枚
48~53	面積(三角形・四角形)	6枚
54~56	平均とその利用	3枚
57~58	単位量あたりの意味	2枚
59~61	分数②-(分数・小数・整数)	3枚
62~67	割合①	6枚
68~69	順々に調べて・見積もりを使って	2枚
70~72	円と正多角形	3枚
73~74	割合②-(割合とグラフ)	2枚
75~78	角柱と円柱	4枚
79~83	速さ	5+3枚
84~85	変わり方・変わり方を調べて	2枚
86	考えを広げよう(輪投げ)	1枚



- 1 旅客機(ボーイング 777-300)について調べました。
全長:73.86m, 全幅(はば):60.93m, 全高(高さ):18.80m
でした。□にあてはまる数をかきましょう。(4点×5)



(1) 73.86は, 10を□個, 1を□個, 0.1を□個, 0.01を□個, 合わせた数です。

(2) 60.93は, 10を□個, 1を□個, 0.1を□個, 0.01を□個, 合わせた数です。

(3) 73.86は, 0.01を□個 集めた数です。

(4) 60.93は, 0.01を□個 集めた数です。

(5) 18.80は, 0.01を□個 集めた数です。

	十	一	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$
	の	の	の	の
	位	位	位	位
	7	3	8	6
	6	0	9	3
	1	8	8	0

整数や小数では, 数字のかかれた位置で位がきまり, となりの位との間には, 10倍, $\frac{1}{10}$ の関係があります。

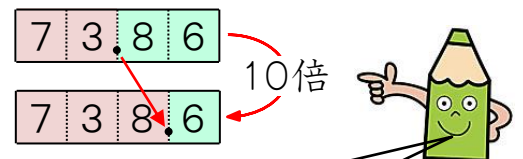


- 2 73.86 60.93 18.80 を 10倍すると, いくつになりますか。□にあてはまる数やことばをかきましょう。(4点×3)

(1) 73.86を10倍すると, 小数点が□に1つ移り, □になります。

(2) 60.93を10倍した数は□です。

(3) 18.80を10倍した数は□です。



小数は10倍すると小数点が右に1つ移ります。

- 3 次の数を10倍した数をかきましょう。(3点×6)

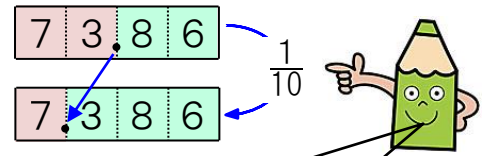
① 2.43 [] ② 36.52 []

③ 0.7 [] ④ 0.84 []

⑤ 0.05 [] ⑥ 0.079 []

4 73.86 60.93 18.80 を $\frac{1}{10}$ にした数は、いくつになりますか。□にあてはまる数やことばをかきましょう。(4点×3)

(1) 73.86を $\frac{1}{10}$ にすると、小数点が□に1つ移り、□になります。



小数を $\frac{1}{10}$ にすると小数点が左に1つ移ります。

(2) 60.93を $\frac{1}{10}$ にした数は□です。

(3) 18.80を $\frac{1}{10}$ にした数は□です。

5 次の数を $\frac{1}{10}$ にした数をかきましょう。(3点×6)

① 53.4 []

② 648.3 []

③ 8 []

④ 2.4 []

⑤ 0.8 []

⑥ 0.85 []

6 □にあてはまる数やことばをかきましょう。(2点×10)

(1) 5.304は、1を□個、0.1を□個、0.001を□個 合わせた数です。

(2) 80.52は、10を□個、0.1を□個、0.01を□個 合わせた数です。

(3) 9.21は、0.01を□個 集めた数です。

(4) 0.583は、0.001を□個 集めた数です。

(5) 2.64を10倍した数は□です。

(6) 0.038を10倍した数は□です。

(7) 3.26を $\frac{1}{10}$ にした数は□です。

(8) 0.75を $\frac{1}{10}$ にした数は□です。

(9) 7.58は、0.758を□にした数です。

(10) 4.03は、40.3を□にした数です。



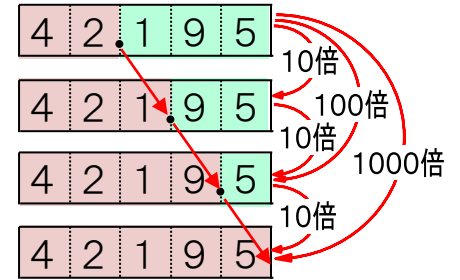


- 1 42.195kmの10倍, 100倍, 1000倍した長さを調べます。□にあてはまる数をかきましょう。(2点×3)

(1) 42.195の10倍 $42.195 \times 10 =$

(2) 42.195の100倍 $42.195 \times 100 =$

(3) 42.195の1000倍 $42.195 \times 1000 =$



整数や小数を, 10倍, 100倍, 1000倍すると, 小数点は右にそれぞれ 1けた, 2けた, 3けた 移ります。



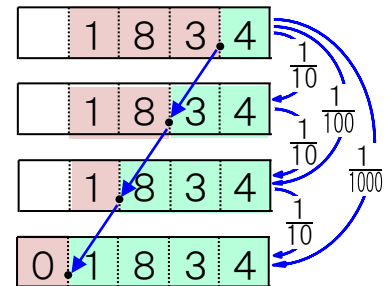
- 2 183.4mを $\frac{1}{10}$, $\frac{1}{100}$, $\frac{1}{1000}$ にした長さを調べます。□にあてはまる数をかきましょう。(2点×3)

(1) 183.4の $\frac{1}{10}$ $183.4 \div 10 =$

(2) 183.4の $\frac{1}{100}$ $183.4 \div 100 =$

(3) 183.4の $\frac{1}{1000}$ $183.4 \div 1000 =$

おりえんとびいなす / 全長: 183.4m



整数や小数を, $\frac{1}{10}$, $\frac{1}{100}$, $\frac{1}{1000}$ にすると, 小数点は左にそれぞれ 1けた, 2けた, 3けた 移ります。



- 3 次の数を10倍, 100倍, 1000倍した数を, じゅんにかきましょう。(2点×12)

① 4.82 → [], [], []

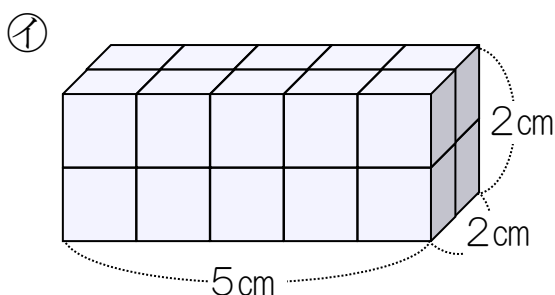
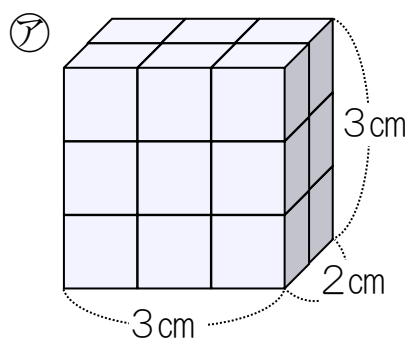
② 0.6 → [], [], []

③ 1.894 → [], [], []

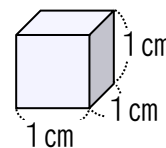
④ 0.073 → [], [], []



- 1 1辺が1cmの立方体を積み重ねて、㉞, ㉟の直方体をつくりました。(5点×4)



- ㊦ 1cm³の立方体



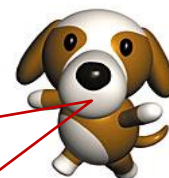
- (1) ㉞, ㉟の直方体は, ㊦の1辺が1cmの立方体が何個分ありますか。

㉞ [個分] ㉟ [個分]

かさのことを^{たいせき}体積といいます。

体積は, 1辺が1cmの立方体がいくつ分あるかで表します。

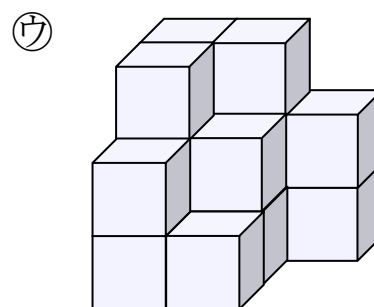
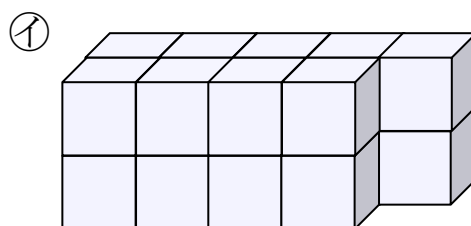
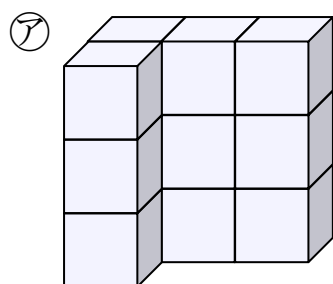
1辺が1cmの立方体の体積は1cm³(^{りっぽう}1立方センチメートル)です。



- (2) ㉞, ㉟の直方体の体積は, 何cm³ですか。

㉞ [cm³] ㉟ [cm³]

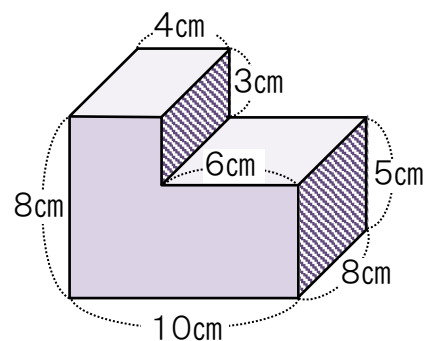
- 2 1辺が1cmの立方体の積み木で, 下のような形をつくりました。体積はそれぞれ何cm³ですか。(10点×3)



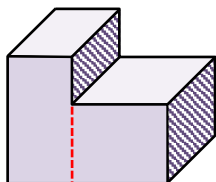
㉞ [cm³] ㉟ [cm³] ㊦ [cm³]



- 1 右のような図形があります。この図形の体積のいろいろな求め方を、直方体の体積の公式を使って考え、説明しましょう。また、その考え方にしたがって、体積を求めましょう。(10点×5)



ア



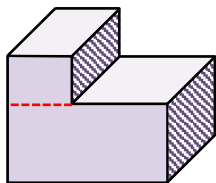
たてに線を入れて、
2つの直方体に分けて
求めます。



(式)

答え〔 〕

イ

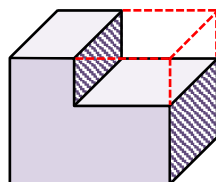


(説明)

(式)

答え〔 〕

ウ



(説明)

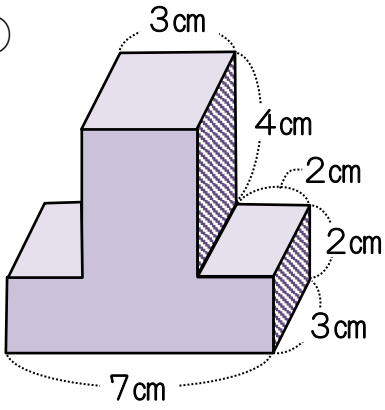
(式)

答え〔 〕

2 次の図形の体積をくふうして求めましょう。

(12点×3)

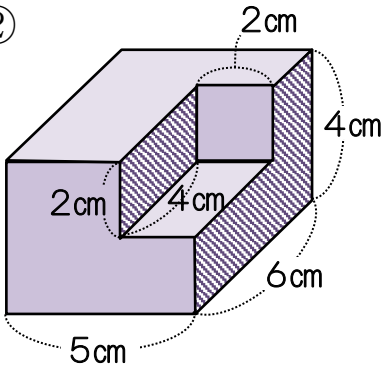
①



(式)

答え〔 〕

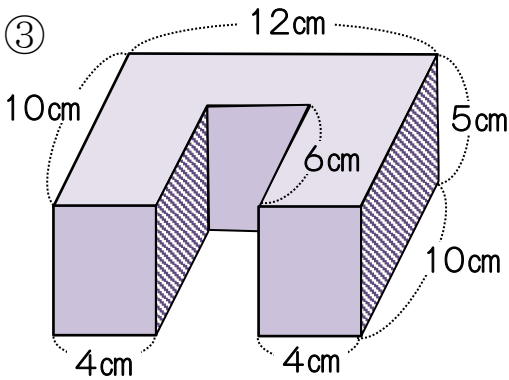
②



(式)

答え〔 〕

③

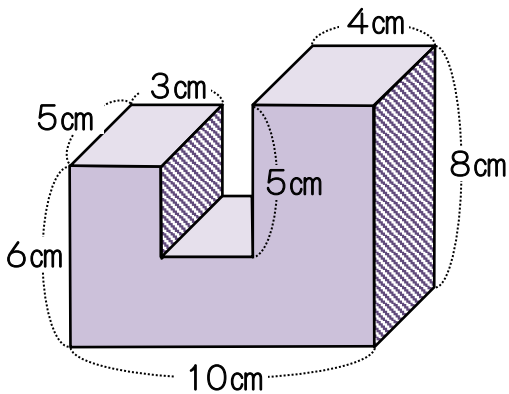


(式)

答え〔 〕

3 次の図形の体積をくふうして求めましょう。

(14点)



(式)

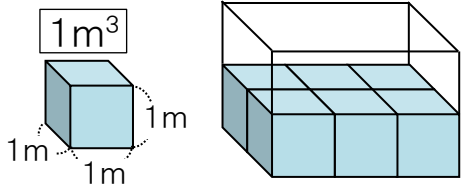
答え〔 〕

1 たて2m, 横3m, 高さ2mの直方体の形をした物置ものおきの体積を求めます。□にあてはまる数をかきましょう。
(10点×2)

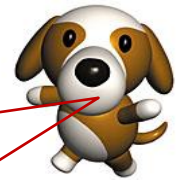


(1) それぞれの長さをcmになおして考えると、
たて□cm, 横□cm, 高さ□cmだから、
求める体積は、□×□×□=□cm³(大きな数)になります。

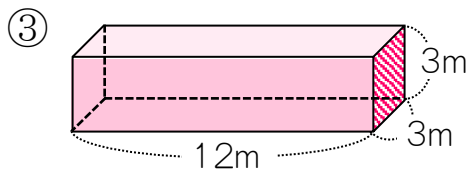
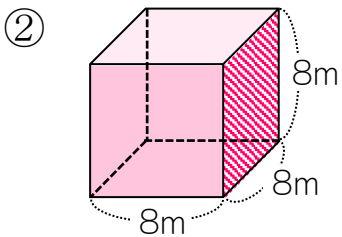
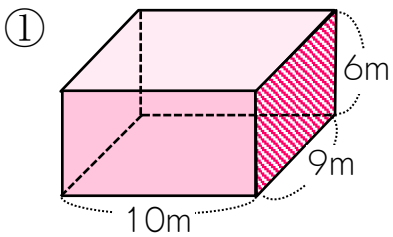
(2) そこで、1辺が1mの立方体の体積「1m³(1立方メートル)」をもとにして考えます。
たて2m, 横3m, 高さ2mの直方体の体積は、
□×□×□=□m³になります。
答え □m³



大きな体積は、1辺が1mの立方体がいっくつ分あるかで表します。
1辺が1mの立方体の体積は1m³(りっぽう1立方メートル)です。
m³も体積の単位です。



2 次の直方体や立方体の体積を求めましょう。(8点×3)



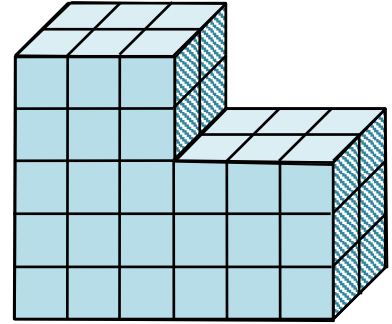
① (式) 答え〔 〕

② (式) 答え〔 〕

③ (式) 答え〔 〕



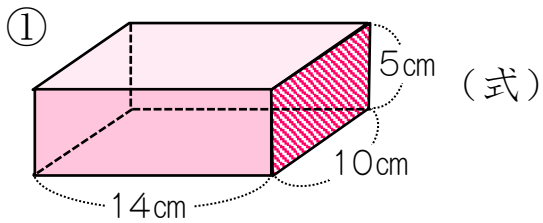
- 1 1辺が1cmの立方体の積み木で、右のような形をつくりました。体積は何 cm^3 ですか。
(10点)



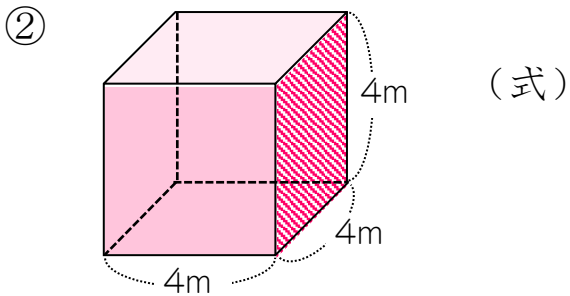
{ }

- 2 次の直方体や立方体の体積を求めましょう。

(10点×2)



答え{ }



答え{ }

- 3 次の入れ物の容積を求めましょう。

(10点×2)

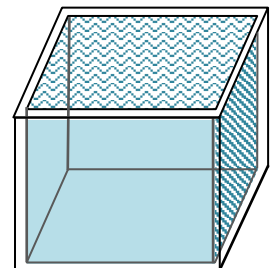
- ① うちのりが、たて、横、深さがどれも2mの立方体の入れ物の容積

(式)

答え{ }

- ② うちのりが、たて30cm、横30cm、深さ22cmの直方体の入れ物の容積

(式)



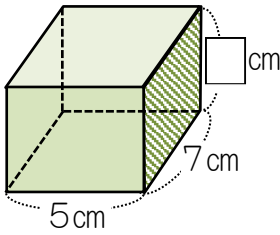
答え{ }



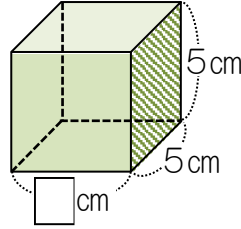
1 にあてはまる数を求めましょう。

(8点×3)

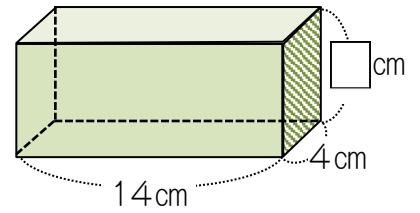
① (体積: 140cm^3)



② (体積: 125cm^3)



③ (体積: 336cm^3)



①

(式)

答え〔 〕

②

(式)

答え〔 〕

③

(式)

答え〔 〕

2 たて5cm, 横6cmの直方体をつくっています。

(8点×3)

① 高さを2cmにすると, 体積は何 cm^3 になりますか。

(式)

答え〔 〕

② 体積を 300cm^3 にするには, 高さを何cmにすればよいですか。

(式)

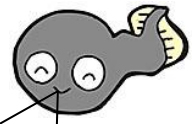
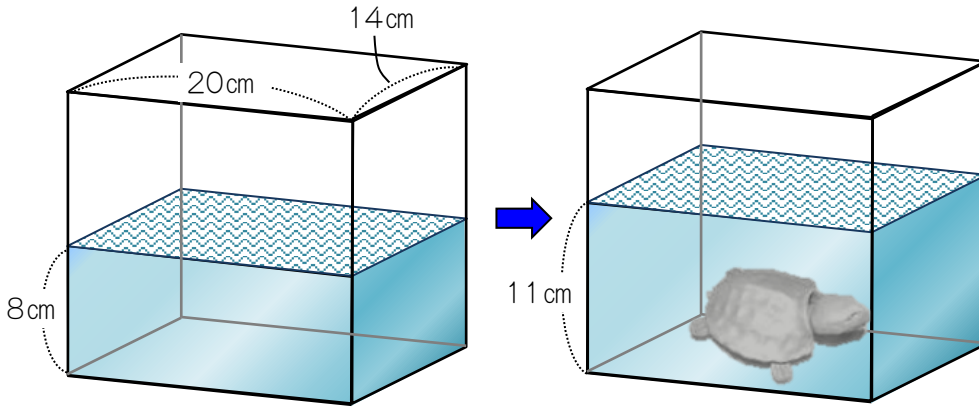
答え〔 〕

③ 体積を①の直方体の7倍にするには, 高さを何cmにすればよいですか。

(式)

答え〔 〕

- 3 下のような直方体の形をした入れものがあります。これに深さ8cmまで水を入れ、その中にねん土でつくった亀かめをしずめたら、水の深さが11cmになりました。



増えた水の体積と、ねん土の体積が等しいことに目をつけて考えましょう。

- (1) ねん土でつくった亀の体積は、何 cm^3 ですか。 (20点)

(式)

(cm^3)

- (2) 亀を入れものから取り出して、今度は石をしずめました。すると、水の深さが14cmになりました。この石の体積は何 cm^3 ですか。 (20点)

(式)



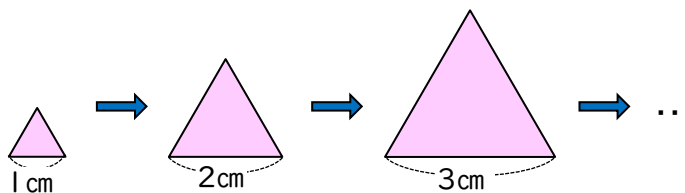
(cm^3)

- (3) 亀をつかったねん土を全部使って、今度はくじらをつくりました。このくじらを水の中(深さ8cm)にしずめると、水の深さはどうなると思いますか。 (12点)



[]

2 正三角形の1辺の長さを、
1cm, 2cm, 3cm, ……と
増やしていくと、まわりの長さは
どのように変わっていきますか。



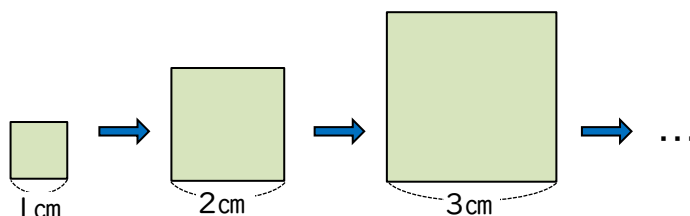
(1) 表にかいて調べましょう。(10点)

1辺の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	
まわりの長さ(cm)	3						

(2) まわりの長さは、三角形の1辺の長さに比例しますか。(10点)

答え〔 〕

3 正方形の1辺の長さを、
1cm, 2cm, 3cm, ……と
増やしていくと、正方形の面積は
どのように変わっていきますか。



(1) 表にかいて調べましょう。(10点)

1辺の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	
正方形の面積(cm ²)	1						

(2) 正方形の面積は、1辺の長さに比例しますか。(10点)

答え〔 〕

4 つぎの2つの関係は、比例しますか、しませんか。(5点×2)

(1) 長さが20cmのろうそくを燃やしたときの、燃やした時間と残りのろうそくの長さとの関係。

答え〔 〕

(2) 高さが25cmのブロックを積んでいったときの、ブロックの数とブロック全体の高さとの関係。

答え〔 〕

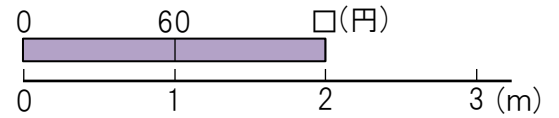


1 □にあてはまる数や式を書きましょう。

(1) 1mが60円のリボンを2m買ったときの代金は何円になりますか。(5点)

(式) $60 \times \square = \square$ 答え \square 円

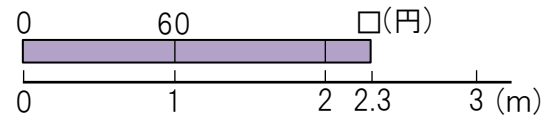
$\boxed{1\text{mのねだん}} \times \boxed{\text{長さ}} = \boxed{\text{代金}}$



(2) 1mが60円のリボンを2.3m買ったときの代金は何円になりますか。(5点)

(式) \square

(1)のことばの式にあてはめて、式をかきましょう。

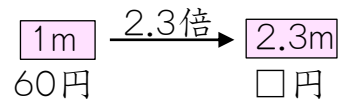


(3) 60×2.3 の計算のしかたを考え、説明しましょう。(10点+8点)

㊦ 2.3mを2mと□mに分けて考えます。

2mの代金は、 $60 \times \square = \square$ (円)になります。

0.3mの代金は、0.1mの代金の□倍です。



0.1mの代金は、 $60 \div \square = \square$ (円)だから、

0.3mの代金は、 $\square \times 3 = \square$ (円)になります。

だから、2.3mの代金は、 $\square + \square = \square$ (円)になります。

㊧ 2.3mは23mの $\frac{1}{10}$ であることから考えます。

2.3mの代金は、23mの代金の $\frac{1}{10}$ になるので、□でわって求めます。

$60 \times 2.3 = 60 \times 23 \div \square = \square$ (円)になります。

2 次の計算をしましょう。(3点×4)

(1) 30×1.3

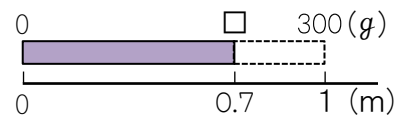
(2) 80×1.6

(3) 50×2.5

(4) 70×4.7

3 1mの重さが300gのはり金 0.7mの重さは何gですか。□にあてはまる数や式を書きましょう。 (8点)

0.7mの重さは、(式) □ で求められます。

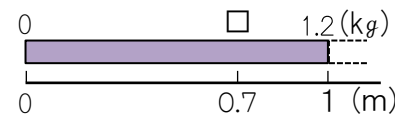


0.7mの重さは 1mの重さの $\frac{7}{10}$ になるので、□ でわって求めます。

(式) $300 \times 0.7 = (300 \times 7) \div \square = \square$ 答え □ g

4 1mの重さが1.2kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう 0.7mの重さは何kgですか。 (8点+6点)

㉞ 0.7mの重さは、(式) □ で求められます。



0.7mの重さは 1mの重さの $\frac{7}{10}$ になるので、□ でわって求めます。

(式) $1.2 \times 0.7 = (1.2 \times 7) \div \square = \square$ 答え □ kg

㉟ 1.2 と 0.7 の両方を10倍して、整数にして計算するしかたをもとに考えます。

(式) $1.2 \times 0.7 = 12 \times 7 \div \square = \square$ 答え □ kg

5 1.2×0.03 の計算のしかたを考え、説明しましょう。 (8点)

(説明)

6 次の計算をしましょう。 (3点×6)

(1) 0.3×0.2

(2) 0.6×0.9

(3) 0.8×0.5

(4) 1.4×0.3

(5) 2×3.1

(6) 50×0.7

7 次の計算をしましょう。 (3点×4)

(1) 1.6×0.04

(2) 28×0.03

(3) 0.9×0.06

(4) 0.05×0.8

4 次の計算のつづきをしましょう。(0をとったり, つけたしたりします。) (4点×3)

①
$$\begin{array}{r} 2.4 \text{ ...1けた} \\ \times 0.75 \text{ ...2けた} \\ \hline 120 \\ 168 \\ \hline \square \square \square \text{ ...}\square \text{ けた} \end{array}$$

小数点以下の最後の0はとります。

②
$$\begin{array}{r} 0.19 \text{ ...2けた} \\ \times 0.23 \text{ ...2けた} \\ \hline 57 \\ 38 \\ \hline \square \square \square \text{ ...}\square \text{ けた} \end{array}$$

小数点以下のけた数がたりないときは, 0をつけたします。(小数点以下の最後の0があるものは, 0をとります。)

③
$$\begin{array}{r} 0.15 \text{ ...2けた} \\ \times 0.14 \text{ ...2けた} \\ \hline 60 \\ 15 \\ \hline \square \square \square \text{ ...}\square \text{ けた} \end{array}$$

5 次の計算をしましょう。 (3点×12)

①
$$\begin{array}{r} 7.2 \\ \times 0.45 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 0.56 \\ \times 9.5 \\ \hline \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 0.25 \\ \times 6.8 \\ \hline \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 0.04 \\ \times 3.5 \\ \hline \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 0.13 \\ \times 0.32 \\ \hline \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 0.38 \\ \times 0.24 \\ \hline \end{array}$$

⑦
$$\begin{array}{r} 0.23 \\ \times 0.04 \\ \hline \end{array}$$

⑧
$$\begin{array}{r} 0.05 \\ \times 0.12 \\ \hline \end{array}$$

⑨
$$\begin{array}{r} 42 \\ \times 2.76 \\ \hline \end{array}$$

⑩
$$\begin{array}{r} 8.4 \\ \times 3.07 \\ \hline \end{array}$$

⑪
$$\begin{array}{r} 0.9 \\ \times 1.98 \\ \hline \end{array}$$

⑫
$$\begin{array}{r} 0.07 \\ \times 6.33 \\ \hline \end{array}$$

6 はるなさんは, 3.6×4.2 の計算のまちがいを下のよう説明しています。
 4.3×5.6 の計算のまちがいを説明してみましょう。 (10点)

$$\begin{array}{r} 3.6 \\ \times 4.2 \\ \hline 72 \\ 144 \\ \hline 151.2 \end{array}$$

整数のところだけ計算すると, $3 \times 4 = 12$
 151.2 は答えが大きすぎます。



$$\begin{array}{r} 4.3 \\ \times 5.6 \\ \hline 258 \\ 215 \\ \hline 2.408 \end{array}$$

(説明)



- 1 あかりさんたちは、1mが120円のリボンを、それぞれ次の長さだけ買いました。

あかり	かなな	いちか	さくら	あおい
0.5m	0.9m	1m	1.3m	2m



- (1) 代金が120円より多くなるのはだれですか。 (20点)

★ことばの式 $1\text{mのねだん} \times \text{長さ} = \text{代金}$ を使って計算してみましょう。

あかり…… $120 \times 0.5 =$

かなな…… $120 \times 0.9 =$

いちか…… $120 \times 1 =$

さくら…… $120 \times 1.3 =$

あおい…… $120 \times 2 =$

答え []

- (2) 積がかけられる数より大きくなる時、等しくなる時、小さくなる時は、それぞれかける数がどんな数のときですか。□にあてはまる数やことばをかきましょう。

㊦ 大きくなる時……かける数が□より□とき (5点×3)

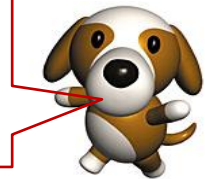
㊧ 等しくなる時……かける数が□のとき

㊨ 小さくなる時……かける数が□より□とき

かける数と積の大きさの関係は、次のようになります。

かける数 > 1 のとき、積 $>$ かけられる数

かける数 < 1 のとき、積 $<$ かけられる数



- 2 次のかけ算の式を㊦, ㊧, ㊨に分け, [] に記号をかきましょう。

また, 計算して確かめてみましょう。 [計算の答えは()にかきましょう。] (3点×5)

① 23×0.8 []

② 23×1 []

③ 23×1.2 []

()

()

()

④ 23×1.05 []

⑤ 23×0.95 []

()

()

㊦ 積 > 23

㊧ 積 $= 23$

㊨ 積 < 23

3 □にあてはまる数を入れて、計算しましょう。 (4点×2)

① $1.7 \times 0.4 = 1.7 \times 4 \div \square = \square$

② $1.6 \times 0.03 = 1.6 \times 3 \div \square = \square$

4 76×25 は1900です。このことを使って、次の計算をしましょう。 (2点×6)

① 76×2.5

② 7.6×2.5

③ 7.6×0.25

④ 0.76×2.5

⑤ 0.76×0.25

⑥ 76×0.025

5 1Lの重さが0.9kgの食用油があります。この油 0.8Lの重さは何kgですか。 (10点)

(式)

答え()



6 1mの重さが1.7kgの鉄パイプがあります。この鉄パイプ 0.85mの重さは何kgですか。 (10点)

(式)

答え()



7 1kgが2000円のコーヒー豆があります。このコーヒー豆 0.4kgを買って、千円札を出しました。おつりは何円になりますか。 (10点)

(式)

答え()





- ① たて2.2cm, 横2.4cmの長方形の面積を求めます。□にあてはまる数をかいて, 考えましょう。(10点+5点)

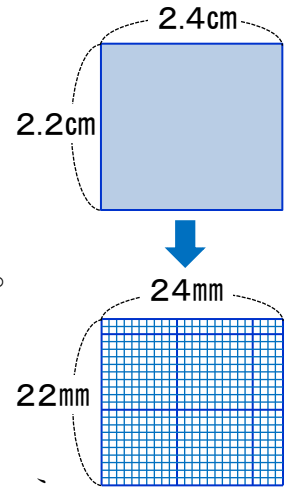
- ㊦ 1辺が1mmの正方形が何個分かを考えるとときましょう。

2.2cmは□mm, 2.4cmは□mmだから,

1辺が1mmの正方形が □×□=□個分になります。

1辺が1mmの正方形の面積は, □cm²だから,

求める長方形の面積は, □cm²になります。



- ① 辺の長さを cmの単位のまま, 面積の公式にあてはめてときましょう。

(式) □×□=□

答え □cm²

- ② 次の面積を求めましょう。(9点×2)

- (1) たて12.8cm, 横8.9cmの写真の面積

(式)

答え()

- (2) 1辺6.3mの正方形の花だんの面積

(式)

答え()

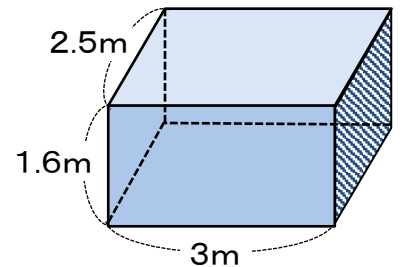
- ③ たて2.5m, 横3m, 高さ1.6mの直方体の体積をもとめます。□にあてはまる数をかいて, 考えましょう。(10点+5点)

- ㊦ たて, 横, 高さを cmの単位で表して計算しましょう。

□×□×□=□

1m³は □cm³だから

求める直方体の体積は, □m³になります。

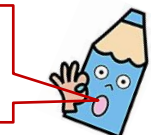


- ① 辺の長さを mの単位のまま, 体積の公式にあてはめてときましょう。

(式) □×□×□=□

答え □m³

面積や体積を求めるとき, 辺の長さが小数であっても, 面積や体積の公式を使って求めることができます。



4 次の体積を求めましょう。 (9点×2)

(1) たて12.2m, 横2.5m, 高さ3mの直方体のコンテナの体積



(式)

答え()

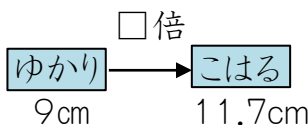
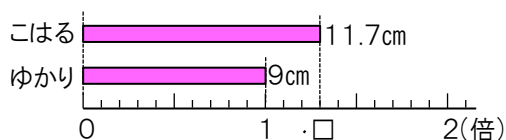
(2) 1辺2.3mの立方体の体積

(式)

答え()

5 3人でへちまを育てています。へちまの高さをくらべましょう。 (8点×2)

(1) こはるさんのへちまの高さは、ゆかりさんのへちまの高さの何倍ですか。

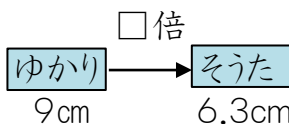
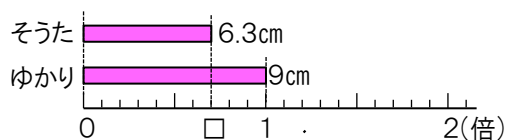


ゆかり	9cm
こはる	11.7cm
そなた	6.3cm

(式) =

答え 倍

(2) そなた君のへちまの高さは、ゆかりさんのへちまの高さの何倍ですか。



(式) =

答え 倍

6 ゆうと君の体重は28kgです。お父さんの体重は、ゆうと君の体重の2.5倍で、妹の体重は、ゆうと君の体重の0.5倍です。 (9点×2)

(1) お父さんの体重は何kgですか。

(式)

答え()

(2) 妹の体重は何kgですか。

(式)

答え()

**1** 次の計算をしましょう。

(2点×8)

(1) 6×0.4

(2) 4.3×0.2

(3) 0.6×0.7

(4) 9×0.04

(5) 0.2×0.08

(6) 3.2×0.03

(7) 0.5×0.06

(8) 1.4×0.05

2 次の計算をしましょう。

(3点×12)

①
$$\begin{array}{r} 3.7 \\ \times 2.3 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 4.5 \\ \times 6.9 \\ \hline \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 0.29 \\ \times 8.1 \\ \hline \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 2.4 \\ \times 0.38 \\ \hline \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 7.2 \\ \times 0.45 \\ \hline \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 0.56 \\ \times 9.5 \\ \hline \end{array}$$

⑦
$$\begin{array}{r} 0.04 \\ \times 3.5 \\ \hline \end{array}$$

⑧
$$\begin{array}{r} 2.5 \\ \times 0.08 \\ \hline \end{array}$$

⑨
$$\begin{array}{r} 0.13 \\ \times 0.32 \\ \hline \end{array}$$

⑩
$$\begin{array}{r} 0.23 \\ \times 0.04 \\ \hline \end{array}$$

⑪
$$\begin{array}{r} 8.4 \\ \times 3.07 \\ \hline \end{array}$$

⑫
$$\begin{array}{r} 0.9 \\ \times 1.98 \\ \hline \end{array}$$

3 63×47 は2961です。このことを使って、次の計算をしましょう。

(2点×4)

① 63×4.7

② 6.3×4.7

③ 6.3×0.47

④ 0.63×0.47

4 どの□にも0でない同じ数が入ります。積がかけられる数より小さくなるのはどれですか。そのわけも説明しましょう。 (2点+5点)

ア $\square \times 2.1$

イ $\square \times 0.8$

ウ $\square \times 0.07$

エ $\square \times 1.03$

答え〔 〕

(説明)

5 式をかいて答えを求めましょう。 (7点×3)

(1) 1m90円のリボン 3.8mの代金
(式)

答え()

(2) たて1.8m, 横0.9mのたたみの面積
(式)

答え()

(3) 1Lの重さが 0.7kgのガソリン 8.5Lの重さ
(式)

答え()

6 あけみさんの体重は35kgで、お母さんの体重は、その1.2倍です。 (6点×2)

(1) お母さんの体重は何kgですか。
(式)

答え()

(2) お父さんの体重は、お母さんの体重の1.6倍です。お父さんの体重は何kg
ですか。

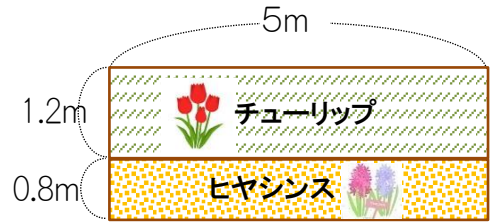
(式)

答え()

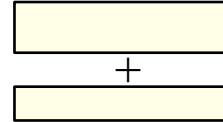


- 1 チューリップの花だんと ヒヤシンスの花だんを合わせた面積を、はるなさんたちは次のようにして求めました。3人が表した式をそれぞれ計算し、面積が同じになることを確かめましょう。(5点×3)

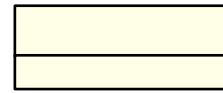
㊦ はるな $1.2 \times 5 + 0.8 \times 5 = \square + \square$
 $= \square$



㊧ ひろと $5 \times 1.2 + 5 \times 0.8 = \square + \square$
 $= \square$



㊨ ゆうま $(1.2 + 0.8) \times 5 = \square \times \square$
 $= \square$



- 2 整数のときの計算のきまりが、小数でも成り立つかどうかを調べます。それぞれの式を計算してみて、答えが等しければ、()に○をつけましょう。(5点×6)

(1) ㊦ $1.4 + 7.3 = \square$

㊧ $7.3 + 1.4 = \square$

()

(2) ㊦ $1.8 + 0.2 + 3.8 = \square$

㊧ $1.8 + (0.2 + 3.8) = \square$

()

(3) ㊦ $1.3 \times 2.4 = \square$

㊧ $2.4 \times 1.3 = \square$

()

(4) ㊦ $1.7 \times 4 \times 2.5 = \square$

㊧ $1.7 \times (4 \times 2.5) = \square$

()

(5) ㊦ $(1.1 + 6.9) \times 5 = \square$

㊧ $1.1 \times 5 + 6.9 \times 5 = \square$

()

(6) ㊦ $(10 - 0.1) \times 62 = \square$

㊧ $10 \times 62 - 0.1 \times 62 = \square$

()

小数の計算でも、下のようなきまりがあります。

- ① $\square + \bigcirc = \bigcirc + \square$ ② $(\square + \bigcirc) + \triangle = \square + (\bigcirc + \triangle)$
 ③ $\square \times \bigcirc = \bigcirc \times \square$ ④ $(\square \times \bigcirc) \times \triangle = \square \times (\bigcirc \times \triangle)$
 ⑤ $(\square + \bigcirc) \times \triangle = \square \times \triangle + \bigcirc \times \triangle$
 ⑥ $(\square - \bigcirc) \times \triangle = \square \times \triangle - \bigcirc \times \triangle$



3 □にあてはまる数をかきましょう。

(5点×7)

① $2.5 + 3.7 + 2.3 = \square + (3.7 + 2.3) = \square + \square = \square$

② $73 \times 2.5 \times 4 = \square \times (2.5 \times 4) = \square \times \square = \square$

③ $28 \times 0.4 \times 2.5 = 28 \times (0.4 \times \square) = 28 \times \square = \square$

④ $(4.4 + 3.6) \times 9 = \square \times 9 + \square \times 9$

⑤ $(6.9 - 2.5) \times 8 = \square \times 8 - \square \times 8$

⑥ $5.1 \times 7 + 0.9 \times 7 = (5.1 + \square) \times 7 = \square \times \square = \square$

⑦ $8.9 \times 8 - 3.9 \times 8 = (8.9 - \square) \times 8 = \square \times \square = \square$

4 計算のきまりを使って、次の計算をします。□にあてはまる数をかきましょう。

(5点×4)

① $9.6 + 6.3 + 0.4 = (9.6 + \square) + \square = \square$

② $2.5 \times 2.8 = 2.5 \times (4 \times \square) = (2.5 \times 4) \times \square = \square \times \square = \square$

③ $96 \times 0.5 = (\square - 4) \times 0.5 = \square \times 0.5 - 4 \times 0.5 = \square - \square = \square$

④ $84 \times 10.1 = 84 \times (\square + \square) = 84 \times \square + 84 \times \square = \square + \square$
 $= \square$

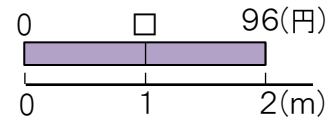


- ① 2m, 3m, 2.4mの3種類のひもがあります。
代金はどれも96円です。□にあてはまる数や式をかいて, 1mあたりのねだんをそれぞれ求めましょう。
(8点×3)



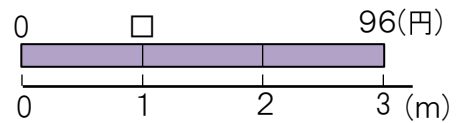
- (1) 2mが96円のひもの1mあたりのねだんは,

(式) = 答え 円



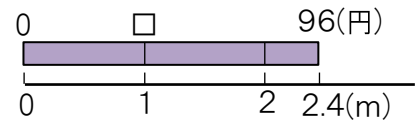
- (2) 3mが96円のひもの1mあたりのねだんは,

(式) = 答え 円



- (3) 2.4mが96円のひもの1mあたりのねだんは,

(式) で表せます。



- ② 96÷2.4の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。(8点×2)

- ㊦ 0.1m分のねだんを求めてから, 1m分のねだんを考える方法

2.4mは0.1mの 倍だから, 0.1mのねだんは, $96 \div 24 =$ (円)

1mのねだんは, $(96 \div 24) \times 10 =$ 答え 円

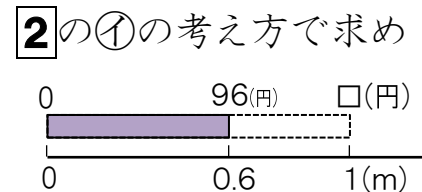
- ㊧ 24mのねだんを求めてから, 1m分のねだんを考える方法

24mは2.4mの 倍だから, ねだんも10倍になります。

1mのねだんは, $(96 \times 10) \div (2.4 \times 10) =$ 答え 円

- ③ 0.6mで96円のリボン 1mのねだんは何円ですか。
ましょう。 (10点)

(式)

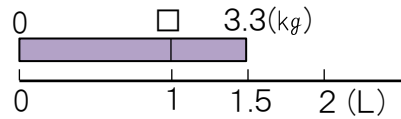


答え()

【計算のしかた】

4 土が1.5Lあります。重さをはかったら、3.3kgでした。この土1Lの重さは何kgですか。 (5点+8点)

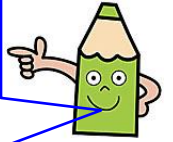
ア (式)



① $3.3 \div 1.5$ の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。

$$\begin{aligned}
 3.3 \div 1.5 &= (3.3 \times \square) \div (1.5 \times \square) \\
 &= \square \div \square \\
 &= \square \quad \text{答え} \underline{\square} \text{ kg}
 \end{aligned}$$

整数のときと同じように、3.3と1.5をそれぞれ10倍して計算すれば答えを求めることができます。



5 $6.3 \div 0.09$ の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。 (8点)

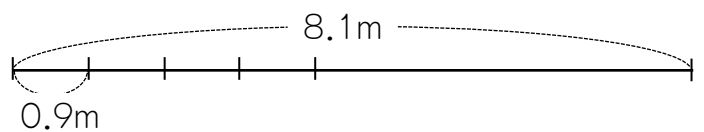
$$\begin{aligned}
 6.3 \div 0.09 &= (\square \times \square) \div (\square \times \square) \\
 &= \square \div \square \\
 &= \square \quad \text{答え} \underline{\square}
 \end{aligned}$$

6 次の計算をしましょう。 (2点×10)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) $2.1 \div 0.7$ | (2) $0.2 \div 0.5$ |
| (3) $48 \div 0.8$ | (4) $0.28 \div 0.4$ |
| (5) $0.72 \div 0.12$ | (6) $3.5 \div 1.4$ |
| (7) $5.4 \div 0.06$ | (8) $0.08 \div 0.02$ |
| (9) $0.03 \div 0.05$ | (10) $0.04 \div 0.05$ |

7 8.1mのリボンを、0.9mずつに切って、花かざりをつくります。花かざりは何個できますか。 (9点)

(式)



答え()



1 次の筆算のしかたをおぼえたら、()に○をつけましょう。(5点×3)

(1) $1.5 \overline{) 7.65}$ → $1.5 \overline{) 7.65}$ → $1.5 \overline{) 7.65}$

10倍 10倍

わる数を10倍する。
わられる数も10倍する。

おぼえた()

$$\begin{array}{r} 5.1 \\ 1.5 \overline{) 7.65} \\ \underline{7.5} \\ 1.5 \\ \underline{1.5} \\ 0 \end{array}$$

答えの小数点は、わられる数の小数点にそろえてうちます。

(2) $0.35 \overline{) 3.15}$ → $0.35 \overline{) 3.15}$ → $0.35 \overline{) 3.15}$

100倍 100倍

わる数を100倍する。
わられる数も100倍する。

おぼえた()

$$\begin{array}{r} 9 \\ 0.35 \overline{) 3.15} \\ \underline{3.15} \\ 0 \end{array}$$

(3) $0.45 \overline{) 3.6}$ → $0.45 \overline{) 3.60}$ → $0.45 \overline{) 3.60}$

100倍 100倍

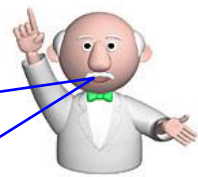
0をつけたします。

おぼえた()

$$\begin{array}{r} 8 \\ 0.45 \overline{) 3.60} \\ \underline{3.60} \\ 0 \end{array}$$

小数でわる筆算のしかた

- ① わる数とわられる数の小数点を同じけた数だけ右に移し、わる数を整数になおして計算する。
- ② 商の小数点は、わられる数の移した小数点にそろえてうつ。



2 次の計算をしましょう。(6点×9)

① $2.3 \overline{) 7.36}$

② $4.6 \overline{) 26.22}$

③ $3.4 \overline{) 9.52}$

④ $0.06 \overline{)8.76}$

⑤ $0.48 \overline{)8.16}$

⑥ $0.41 \overline{)2.05}$

⑦ $0.07 \overline{)20.3}$


⑧ $0.34 \overline{)8.5}$

⑨ $0.25 \overline{)24}$

3 $4.81 \div 7.4$, $6 \div 2.5$ を割り切れるまで計算します。筆算のしかたをおぼえたら、()に○をつけましょう。(5点×2)

①
$$\begin{array}{r} 0.65 \\ 7.4 \overline{)4.81} \\ \underline{444} \\ 370 \\ \underline{370} \\ 0 \end{array}$$


○をつけたします。



おぼえた()

②
$$\begin{array}{r} 2.4 \\ 2.5 \overline{)6.0} \\ \underline{50} \\ 100 \\ \underline{100} \\ 0 \end{array}$$

○をつけたします。



おぼえた()

4 次の計算をしましょう。(7点×3)

① $3.2 \overline{)2.72}$

② $4.5 \overline{)3.06}$

③ $0.8 \overline{)5}$



1 (例)にならって、次の計算をわり切れるまでしましょう。

(6点×5)

$$\begin{array}{r} 2.4 \\ 3.15 \overline{) 7.56} \\ \underline{630} \\ 1260 \\ \underline{1260} \\ 0 \end{array}$$

$$(1) 4.15 \overline{) 6.64}$$

$$(2) 2.08 \overline{) 7.28}$$

$$(3) 2.35 \overline{) 1.88}$$

$$(4) 3.28 \overline{) 8.2}$$

$$(5) 3.75 \overline{) 6}$$

2 面積が 33.3m^2 の長方形の土地があります。横の長さは 7.4m です。たての長さは何 m ですか。

(10点)

(式)

答え()

3 けんた君は、 $6.97 \div 1.7$ の計算のまちがいを下のように説明しています。

$32.33 \div 5.3$ 計算のまちがいを説明してみましょう。

(10点)

整数のところだけ計算すると、
 $6 \div 1 = 6$
41は答えが大きすぎます。

$$\begin{array}{r} 41 \\ 1.7 \overline{) 6.97} \\ \underline{68} \\ 17 \\ \underline{17} \\ 0 \end{array}$$



$$\begin{array}{r} 61 \\ 5.3 \overline{) 32.33} \\ \underline{318} \\ 53 \\ \underline{53} \\ 0 \end{array}$$

(説明)

4 $4.9 \div 0.6$ を計算してみましょう。 (4点 + 5点 \times 2)

ア わり進むしかたで
計算しましょう。

[.....]

わり算でわり切れない
ときには、商を概数^{がいすう}で
表すことがあります。

ア

$$\begin{array}{r} 8.166 \\ 0.6 \overline{) 4.9} \\ \underline{48} \\ 10 \\ \underline{6} \\ 40 \\ \underline{36} \\ 40 \\ \underline{36} \\ 40 \\ \underline{36} \\ 40 \end{array}$$

イ

$$\begin{array}{r} 8.1\cancel{6}\cancel{6} \\ 0.6 \overline{) 4.9} \\ \underline{48} \\ 10 \end{array}$$

ウ

$$\begin{array}{r} 8.1\cancel{6}\cancel{6} \\ 0.6 \overline{) 4.9} \\ \underline{48} \\ 10 \end{array}$$

イ 商を、四捨五入で、 $\frac{1}{10}$ の位までの概数で表しましょう。 [.....]

ウ 商を、四捨五入で、 $\frac{1}{100}$ の位までの概数で表しましょう。 [.....]

5 商を、四捨五入で、 $\frac{1}{10}$ の位までの概数で表しましょう。 (6点 \times 6)

① $0.9 \overline{) 68}$

② $3.7 \overline{) 6.51}$

③ $0.24 \overline{) 7}$

④ $1.9 \overline{) 5}$

⑤ $5.3 \overline{) 7.26}$

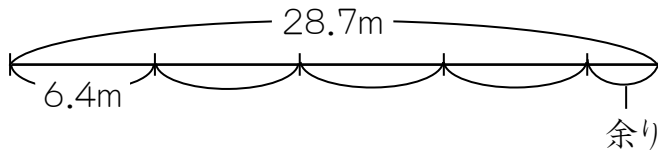
⑥ $0.61 \overline{) 9.04}$



1 28.7mのロープを 6.4mずつに切って、なわとびをつります。 (10点+9点)

(1) 何本できて、何^{あま}m余りますか。

(式)



答え 本できて、 m余る。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 6.4 \overline{) 28.7} \\ \underline{25.6} \\ 3.1 \end{array}$$



余りの小数点の位置は、わられる数のもとの小数点と同じところです。

(2) 商が4で、余りが3.1 になることを^{たし}確かめましょう。

$$\boxed{\text{わる数}} \times \boxed{\text{商}} + \boxed{\text{余り}} = \boxed{\text{わられる数}}$$

$$\boxed{} \times \boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

2 3Lのお茶を、0.4Lはいる水とうに分けていきます。何本できて、何L 余りますか。 (10点)

(式)

答え()

3 商を一の位まで求め、余りをだしましょう。(下の空らんて筆算をしましょう。) (7点×3)

① $17 \div 3.5$

② $45 \div 2.8$

③ $3.62 \div 2.3$

{ }

{ }

{ }



1 □にあてはまる数を入れて、計算しましょう。

(4点×3)

(1) $8 \div 0.2 = (8 \times \square) \div (0.2 \times \square) = \square$

(2) $2.4 \div 0.4 = (2.4 \times \square) \div (0.4 \times \square) = \square$

(3) $5.6 \div 0.07 = (5.6 \times \square) \div (0.07 \times \square) = \square$

2 次の計算をしましょう。

(2点×10)

(1) $3.6 \div 0.9$

(2) $1.4 \div 0.5$

(3) $0.3 \div 0.6$

(4) $2 \div 0.4$

(5) $30 \div 0.5$

(6) $0.63 \div 0.7$

(7) $6.3 \div 0.09$

(8) $0.07 \div 0.01$

(9) $0.04 \div 0.08$

(10) $0.5 \div 0.05$

3 $962 \div 26 = 37$ です。このことを使って、次の計算をしましょう。

(2点×4)

(1) $962 \div 2.6$

(2) $9.62 \div 2.6$

(3) $96.2 \div 0.26$

(4) $9.62 \div 0.26$

4 式をかいて、答えを求めましょう。

(5点×2)

(1) 0.2Lで 80円の油 1Lのねだん

(式)

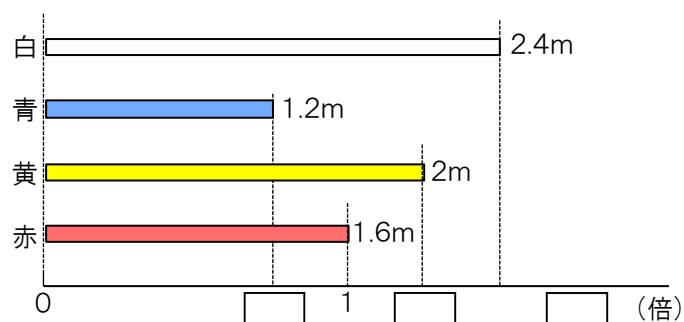
答え()

(2) 7Lのミルクを 0.35L入りのびんに分けたときの びんの本数

(式)

答え()

2 右のような、白、青、黄、赤の4本のテープがあります。



(1) 赤のテープの長さを1としたときの、白、青、黄のテープの長さの割合を答えましょう。(6点×3)

(式)

白	2.4m
青	1.2m
黄	2m
赤	1.6m

答え(白… , 青… , 黄…)

(2) 長さが、白のテープの0.5倍になっているのは、どのテープですか。(6点)

(式)

答え()

(3) 白のテープの長さは、赤のテープの長さの何倍になっていますか。(6点)

(式)

答え()

3 次の問題に答えましょう。(5点×4)

(1) 2.3kgの1.2倍は何kgですか。

答え()

(2) 1.5mは、1.2mの何倍ですか。

答え()

(3) 1.2mは、1.5mの何倍ですか。

答え()

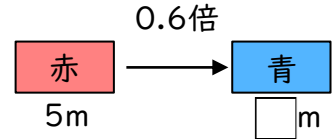
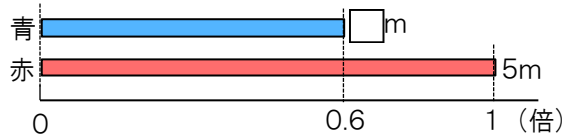
(4) 3.6kgの重さを1としたとき、2.7kgの重さはどれだけになりますか。(割合で)

答え()



1 あとの問題に答えましょう。 (10点×3)

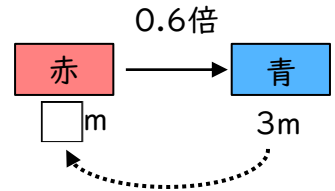
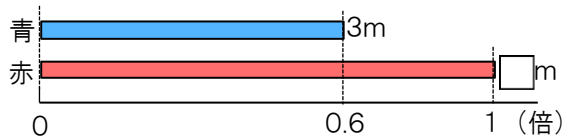
- (1) 赤いテープの長さは5mで、青いテープの長さは赤いテープの長さの0.6倍です。青いテープの長さは何mですか。 (青の長さを□として式を作ろう)



(式)

答え()

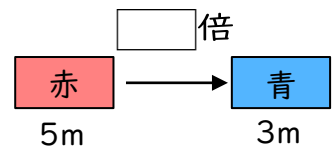
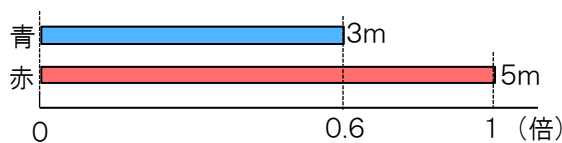
- (2) 青いテープの長さは3mで、赤いテープの長さの0.6倍です。赤いテープの長さは何mですか。 (赤の長さを□として式を作ろう)



(式)

答え()

- (3) 青いテープの長さは3mで、赤いテープの長さは5mです。青いテープの長さは赤いテープの長さの何倍ですか。 (割合を□として式を作ろう)



(式)

答え()

- 2 赤いひもの長さは6mで、白いひもの長さは赤いひもの長さの0.4倍です。白いひもの長さは何mですか。 (10点)

(式)

答え()

- 3** かいとさんは、休み時間に自分のかげの長さを調べました。できたかげの長さは45cmで、かいとさんの身長の0.3倍でした。かいとさんの身長は何cmですか。
(15点)

(式)

答え()

- 4** 夕方に、長さが1.5mの竹のぼうをたてて、できたかげの長さをはかったら、2.4mでした。かげの長さは、竹のぼうの長さの何倍になりましたか。
(15点)

(式)

答え()

- 5** 少したって、こんどは木のぼうを立てて、そのかげの長さをはかったところ、かげの長さは1.8mでした。これは、たてた木のぼうの長さの2.4倍です。木のぼうの長さは何mですか。
(15点)

(式)

答え()

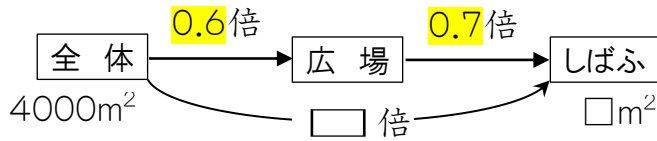
- 6** 赤と白のひもがあります。白のひもの長さを1とすると、赤のひもの長さは0.4の大きさにあたります。赤のひもの長さが2mのとき、白のひもの長さは何mですか。
(15点)

(式)

答え()



- 1 全体の面積が 4000m^2 の公園があります。全体の 0.6 倍が広場で、広場の 0.7 倍がしばふの面積です。しばふの面積は何 m^2 ですか。 (10点×2)



- ① □にあてはまる数をかきましょう。

しばふの面積は、全体の面積の□倍の□倍だから、

$$\square \times \square = \square \text{倍になります。}$$

- ② 式をかいて、答えを求めましょう。

(式)

答え()

- 2 次の割合を求めましょう。

(10点×2)

- (1) 0.9 倍の 0.6 倍は、どれだけですか。

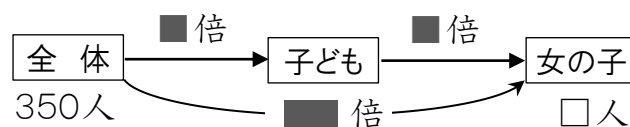
答え(倍)

- (2) 3.6 倍の 2.5 倍は、どれだけですか。

答え(倍)

- 3 ある美術館で、今日の入館者数は 350 人で、全体の 0.4 倍が子どもでした。また、子どものうちの 0.6 倍は女の子でした。女の子は何人入館しましたか。

(10点)



(式)

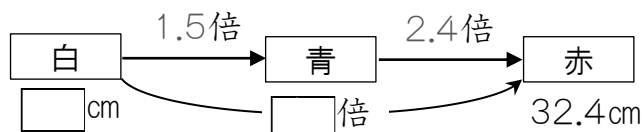
答え()

4 赤, 青, 白の長さのちがう3本のぼうがあります。その長さは, 白の1.5倍が青の長さ, 青の長さの2.4倍が赤の長さでした。

赤のぼうの長さが32.4cmのとき, 白のぼうの長さは何cmですか。

(赤のぼうの長さが, 白のぼうの長さの何倍になるのかを使って答えましょう。)

(13点)



(式)

答え()

5 大, 中, 小の3つのボールがあります。その重さは, 中は小の3.5倍で, 大は中の1.2倍でした。また, 大の重さは33.6gでした。小の重さは何gでしたか。

(12点)

(式)

答え()

6 公園で遊んでいる人数を調べると, 公園全体の人数の0.7倍が広場にいる人数, 広場にいる人数の0.4倍がしばふにいる人数でした。 (13点+12点)

(1) 公園全体の人数が50人だとすると, しばふにいる人数は何人ですか。

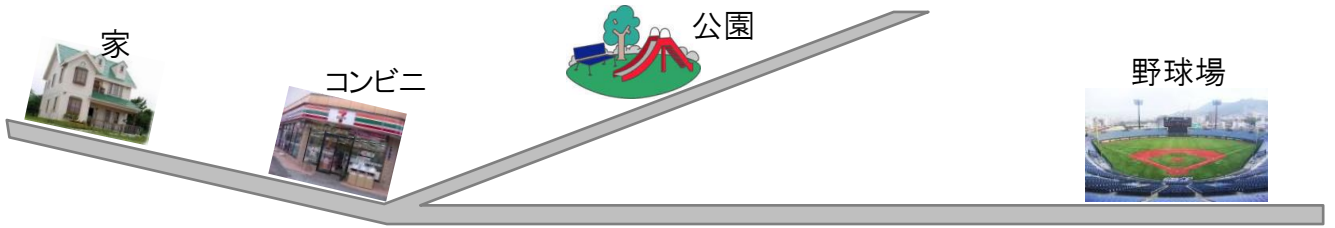
(式)

答え()

(2) しばふにいる人数が28人だとすると, 公園全体の人数は何人ですか。

(式)

答え()



- 1 次の(1), (2)で, 家からコンビニまでの道のりを□kmとして, 式に表しましょう。
また, □がどんな計算で求められるか考えましょう。 (12点×2)

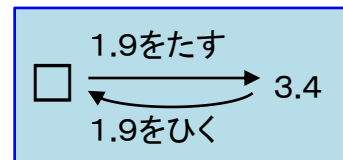
- (1) 家からコンビニに行き, そこから1.9kmはなれた公園まで行くと, 道のりは3.4kmになります。家からコンビニまでの道のりは何kmですか。

(式) $\square + \square = \square$

$\square = \square - \square$

$\square = \square$

答え \square km



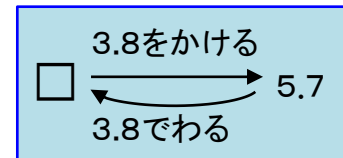
- (2) 家から野球場までの道のりは5.7kmで, 家からコンビニまでの道のりの3.8倍です。家からコンビニまでの道のりは何kmですか。

(式) $\square \times \square = \square$

$\square = \square \div \square$

$\square = \square$

答え \square km



- 2 リボンがあります。プレゼントをつつむのに2m使ったので, 残りは5.5mになりました。はじめのリボンの長さは何mでしたか。
□を使った式に表して, □をもとめましょう。 (12点)

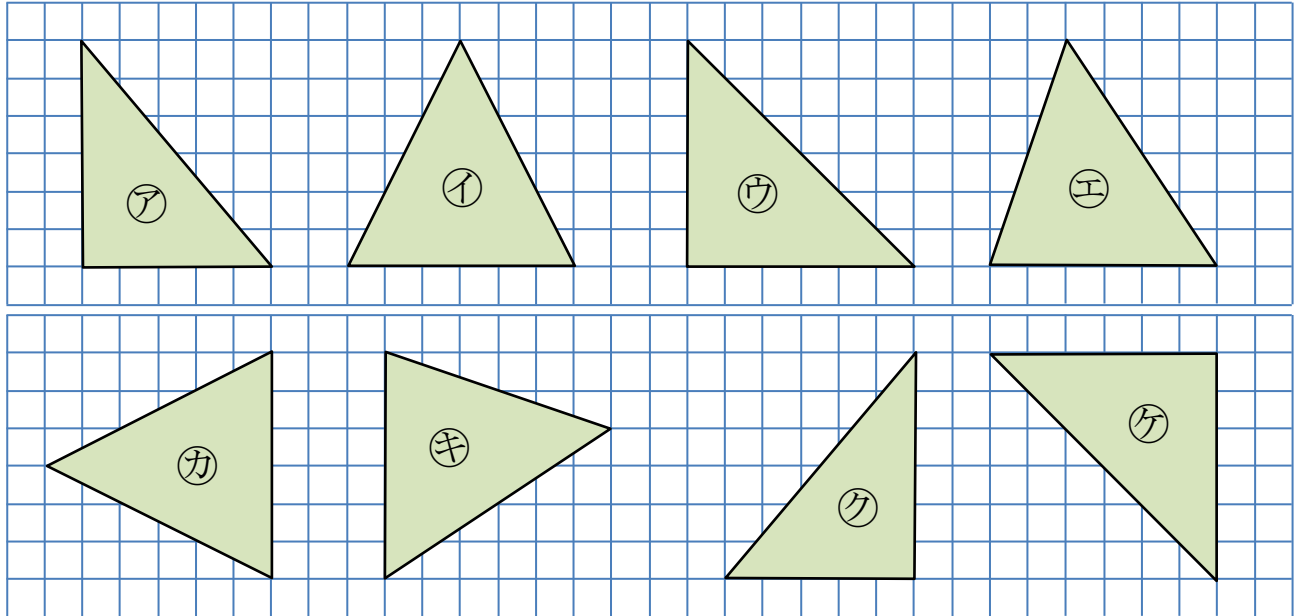


(式)

答え(m)

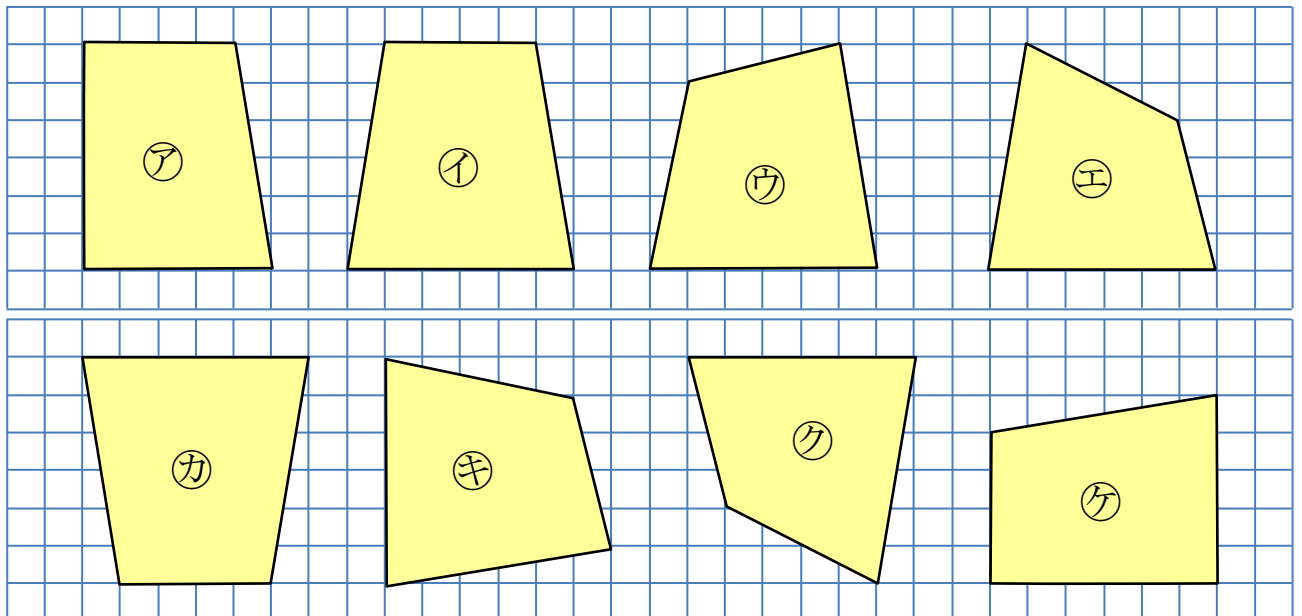


- 1 ㉠～㉥の三角形と形も大きさも同じ三角形を, ㉦～㉫の中からそれぞれ選んで, 記号で答えましょう。 (4点×4)



㉠と[] ㉡と[] ㉢と[] ㉣と[]

- 2 ㉠～㉥の四角形と形も大きさも同じ四角形を, ㉦～㉫の中からそれぞれ選んで, 記号で答えましょう。 (4点×4)



㉠と[] ㉡と[] ㉢と[] ㉣と[]

2つの図形がぴったり重なるとき, これらの図形は **合同** であるといえます。

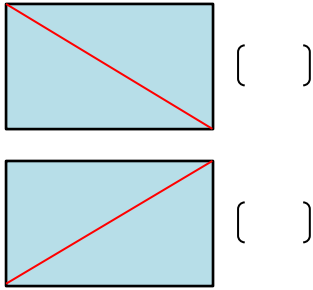




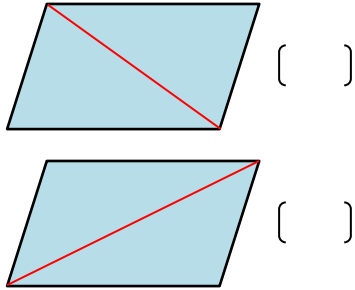
1 長方形や平行四辺形, 台形を, それぞれ1本の対角線で2つの三角形に分けます。2つの三角形が合同になるものには○, ならないものには×をつけましょう。

(3点×6)

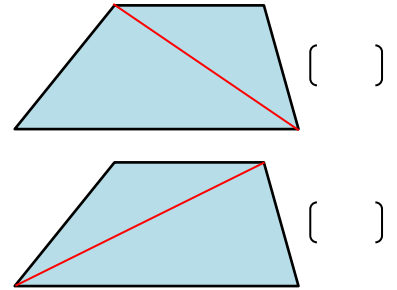
① 長方形



② 平行四辺形



③ 台形



2 下の図は, 長方形に2本の対角線をひいたものです。次の①～⑧の三角形と合同な三角形を8組答えましょう。

(3点×8)

① 三角形ABEと 三角形 []

② 三角形EBCと 三角形 []

③ 三角形ABCと 三角形 []

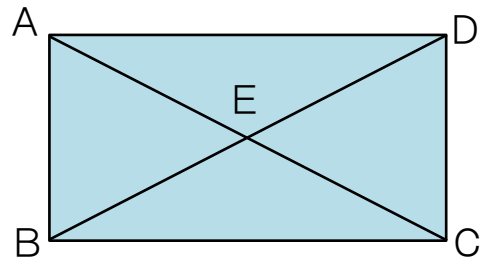
④ 三角形ABCと 三角形 []

⑤ 三角形ABCと 三角形 []

⑥ 三角形CDAと 三角形 []

⑦ 三角形CDAと 三角形 []

⑧ 三角形BADと 三角形 []



3 下の図は, 平行四辺形に2本の対角線をひいたものです。合同な三角形を4組答えましょう。

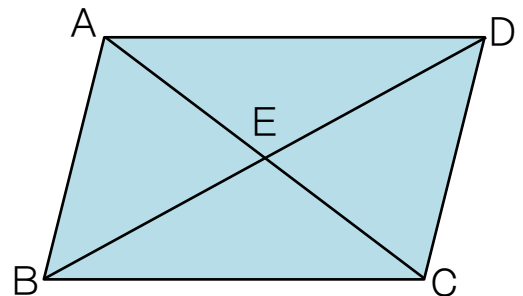
(3点×4)

① 三角形 []と 三角形 []

② 三角形 []と 三角形 []

③ 三角形 []と 三角形 []

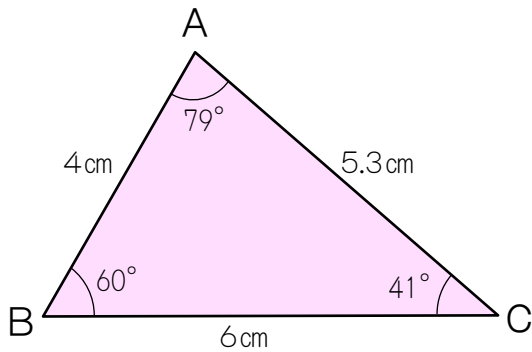
④ 三角形 []と 三角形 []





1 下の三角形と合同な三角形を、㉞、㉟、㊱の3通りの方法でかきましょう。

(15点×3)



辺BCの長さをはかって
頂点Bと頂点Cをきめて
から、頂点Aのきめ方を
いろいろ考えましょう。



㉞ 3つの辺の長さが6cm, 4cm, 5.3cmの三角形をかく。

書き方のヒント

① 辺BCをかく

② 半径4cmの円をかく

③ 半径5.3cmの円をかく

B _____ C

㉟ 2つの辺の長さが6cm, 4cmで、その間の角の大きさが60°の三角形をかく。

書き方のヒント

① 辺BCをかく

② 60°の角をかく

③ 頂点Bから4cmの点をとる

B _____ C

㊱ 1つの辺の長さが6cmで、その両はしの角の大きさが60°, 41°の三角形をかく。

書き方のヒント

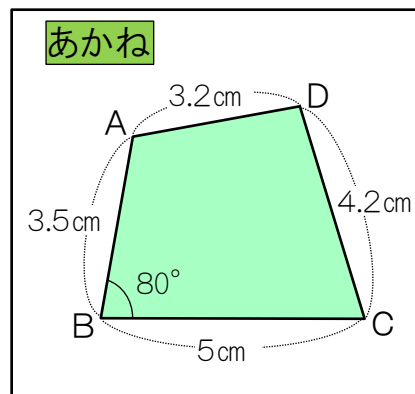
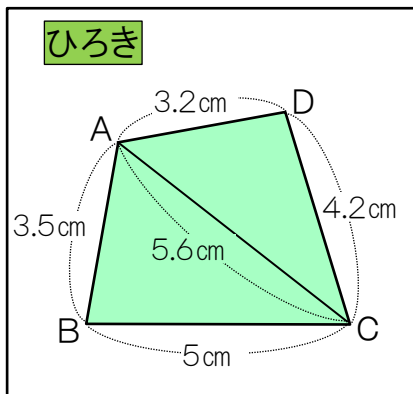
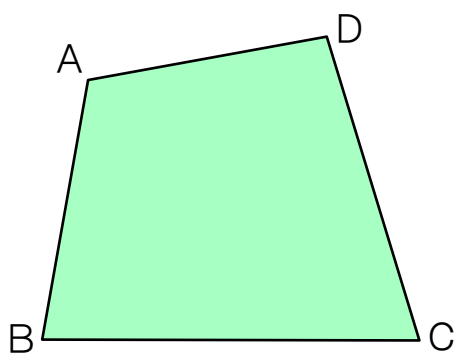
① 辺BCをかく

② 60°の角をかく

③ 41°の角をかく

B _____ C

2 下の四角形と合同な四角形を、ひろき君とあかねさんがかきました。かき方を説明した□にあてはまる記号やことばをかきましょう。(3点×8)



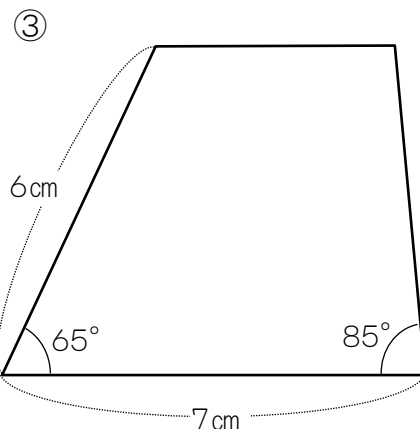
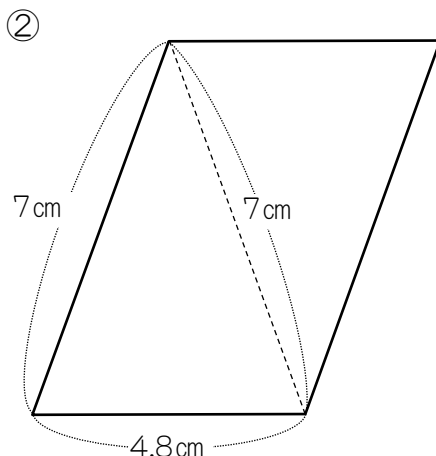
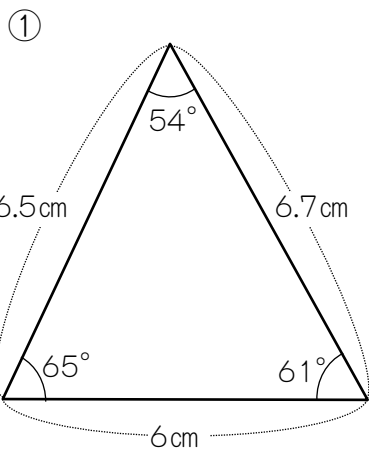
(1) ひろき君のかき方

- ① 辺BCの長さをはかり、辺BCをかきます。
- ② 辺ABと、対角線□の長さをはかり、コンパスを使って頂点□を決めます。
- ③ 辺□と 辺□の長さをはかり、コンパスを使って頂点Dを決めます。
- ④ 最後に頂点どうしを結びます。

(2) あかねさんのかき方

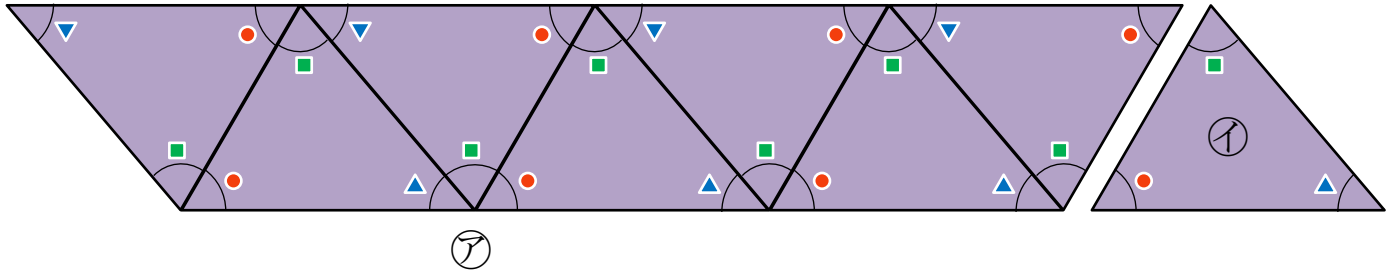
- ① 辺BCの長さをはかり、辺BCをかきます。
- ② 辺ABとの長さ と 角□の大きさをはかり、頂点□を決めます。
- ③ 辺ADと 辺□の長さをはかり、コンパスを使って頂点□を決めます。
- ④ 最後に頂点どうしを結びます。

3 うらの白いページを使って、下の図のような三角形や平行四辺形や台形をかきましょう。(9点+11点×2)





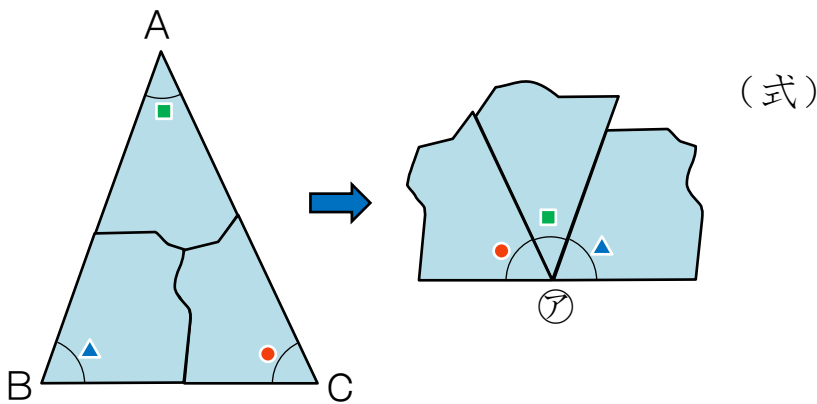
1 合同な三角形を横にならべていきました。()にあてはまる数やことばを、下の から選んでかきましょう。(同じものを何回使ってもよい) (8点×3+10点)



- (1) ならべてできた上下の線は、()になっています。
- (2) アの3つの角が集まったところの角の大きさは()になっています。
- (3) イの三角形の3つの角の和[■ + ● + ▲]は、アの角の大きさと同じだから、()です。
- (4) イの三角形の角の大きさを分度器ではかって、3つの角の大きさの和を求めます。
 角■は(), 角●は(), 角▲は(), なので、
 () + () + () = () になります。

50° · 60° · 70° · 180° · 一直線

2 下のような三角形を切り取って、3つの角を集めました。3つの角の大きさの和は何度になりますか。分度器ではかって求めましょう。 (16点)



答え()

どんな三角形でも、三角形の3つの角の大きさの和は180° になります。



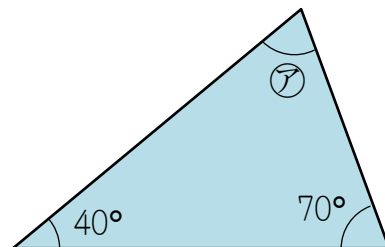
3 下の図の㉞, ㉟の角の大きさは何度ですか。

(10点×2)

㉞の角は,

$$180^\circ - (\square^\circ + \square^\circ) = \square^\circ$$

答え()

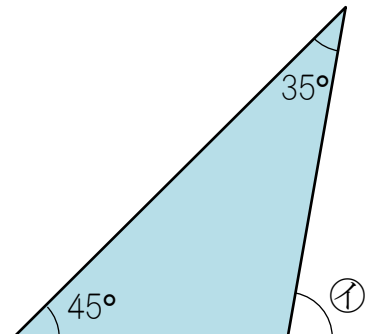


㉟の角は,

$$180^\circ - (\square^\circ + \square^\circ) = \square^\circ$$

$$180^\circ - \square^\circ = \square^\circ$$

答え()

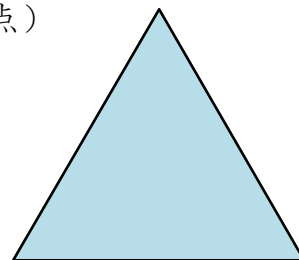


4 正三角形は, 3つの角の大きさが同じになっています。1つの角の大きさは何度ですか。

(7点)

(式)

答え()

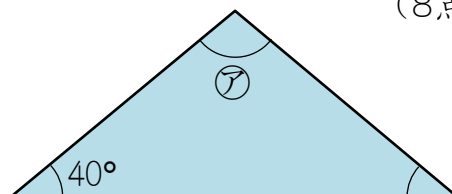


5 二等辺三角形は, 2つの角の大きさが同じになっています。㉞の角の大きさは何度ですか。

(8点)

(式)

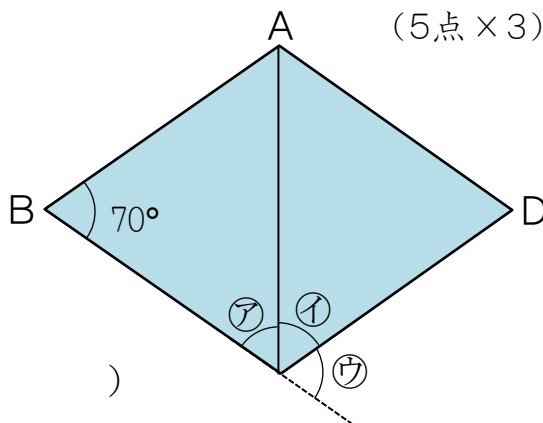
答え()



6 下のひし形ABCDで, ㉞, ㉟, ㊱の角の大きさは, それぞれ何度ですか。

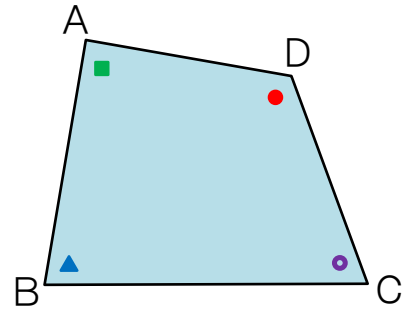
(5点×3)

答え(㉞ , ㉟ , ㊱)

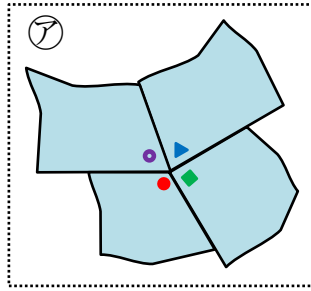




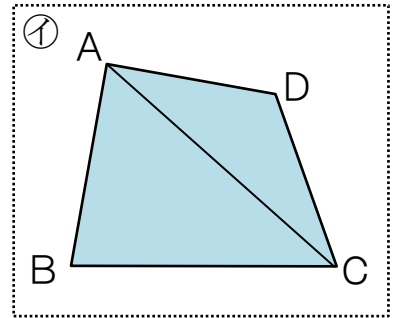
1 四角形の4つの角の大きさの和について調べます。
 にあてはまる数やことばをかきましょう。(12点×3)



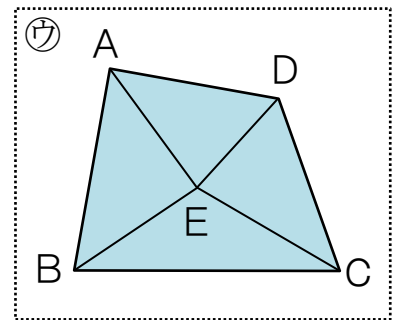
(1) ㉞のように切り取って1つの点に集めると、1回転の角になることから、4つの角の大きさの和は °になります。



(2) ㉟のように四角形を対角線で2つの三角形に分けます。三角形の3つの角の大きさの和は °で、四角形の4つの角の大きさの和は三角形 個分の角の大きさの和と同じになるから、 °× = °になります。



(3) ㊱のように四角形の中に点Eをとって、四角形を4つの三角形に分けます。1つの三角形の角の大きさの和は °なので、三角形4個分の角の大きさの和は、 °× = °です。点Eのまわりの角の大きさは °だから、これをひいて、 ° - = °になります。

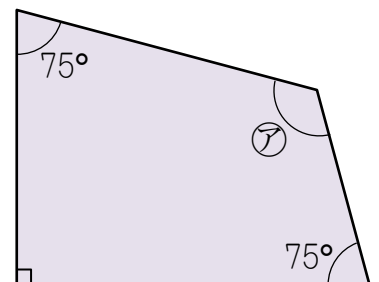


どんな四角形でも、四角形の4つの角の大きさの和は **360°** になります。



2 下の図で、㉞の角の大きさは何度ですか。(14点)

(式)



答え()

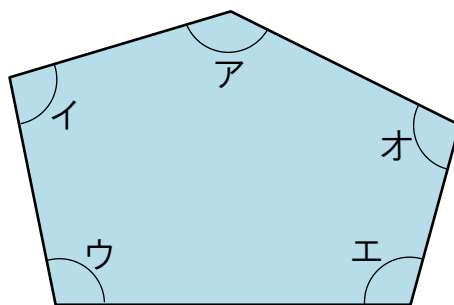
3 5本の直線で囲まれている形を五角形といいます。五角形の5つの角の大きさの和を求めます。□にあてはまる数やことばをかきましょう。(10点)

1つの頂点から対角線をひき、3つの三角形に分けます。1つの三角形の角の大きさの和は

□°なので、ア+イ+ウ+エ+オの角度は

三角形□つ分の角の大きさの和と同じに

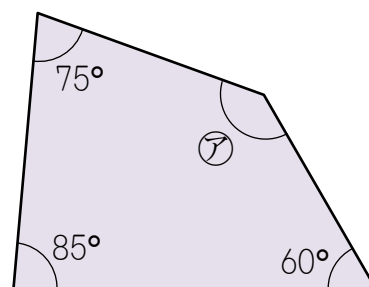
なるから、□°×□=□°になります。



4 下の図の①, ②の角の大きさは、それぞれ何度ですか。(10点×2)

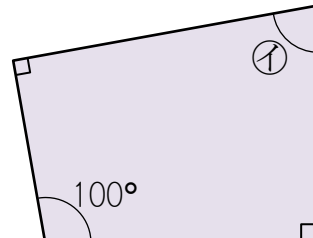
(1)
(式)

答え()



(2)
(式)

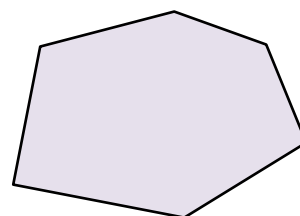
答え()



5 6本の直線で囲まれている形を六角形といいます。下の六角形の6つの角の大きさの和を求めましょう。また、その求め方を説明しましょう。(10点×2)

(式)

答え()



求め方

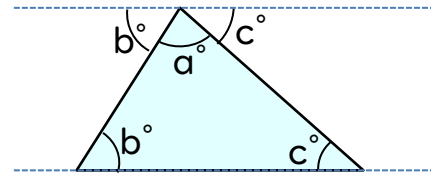


1 多角形の角の大きさを、順に調べていきましょう。

(10点×6)

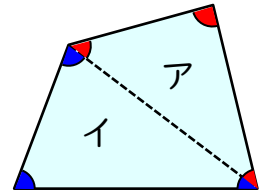
(1) 右のように考えると、三角形の内角ないかくの和は、

$$a^\circ + b^\circ + c^\circ = \boxed{}^\circ \text{であることがわかります。}$$



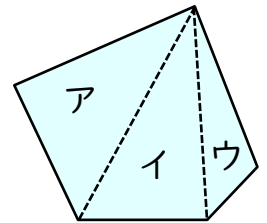
(注) 内角…三角形の内側うちがわにできる角のこと。(5年の教科書では角と表記されている)

(2) 右のように考えると、四角形の内角の和は、赤い角の三角形アの内角の和と、青い角の三角形イの内角の和を合わせたものになることがわかります。



だから、四角形の内角の和は $\boxed{}^\circ \times 2 = \boxed{}^\circ$ になります。

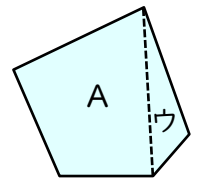
(3) 右のように考えると、五角形の内角の和は、アと、イと、ウの三角形の内角の和を合わせたものになることがわかります。



だから、五角形の内角の和は $\boxed{}^\circ \times 3 = \boxed{}^\circ$ になります。

また、五角形の内角の和を右の図のように、Aの四角形の内角の和と、ウの三角形の内角の和を合わせたものだと考えると、

五角形の内角の和は、 $\boxed{}^\circ + \boxed{}^\circ = 540^\circ$ になります。



(4) (3)を参考さんこうにして、①六角形の内角の和、②七角形の内角の和、③八角形の内角の和を求めましょう。

① 六角形の内角の和

答え()

② 七角形の内角の和

答え()

③ 八角形の内角の和

答え()

三角形，四角形，五角形のように，直線で囲まれた図形を
 たかくけい
多角形といいます。

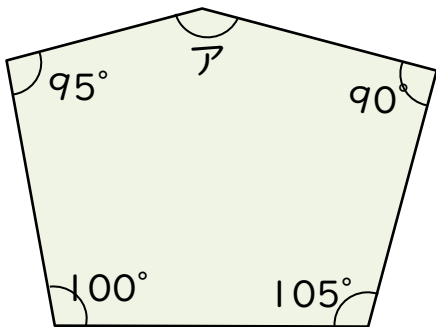


2 多角形の内角の大きさの和を，表にまとめましょう。 (10点)

0 図形	三角形	四角形	五角形	六角形	七角形	八角形
角(内角)の 大きさの和	180°					

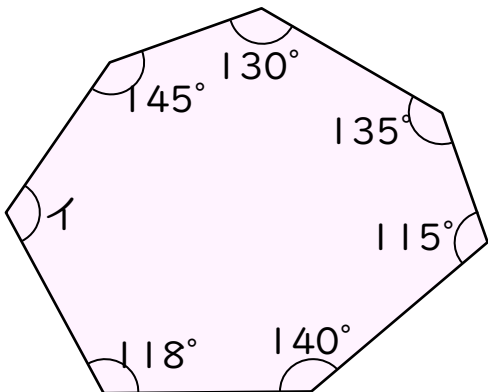
3 下の図の角の大きさを求めましょう。 (15点×2)

(1) (式)



答え()

(2) (式)

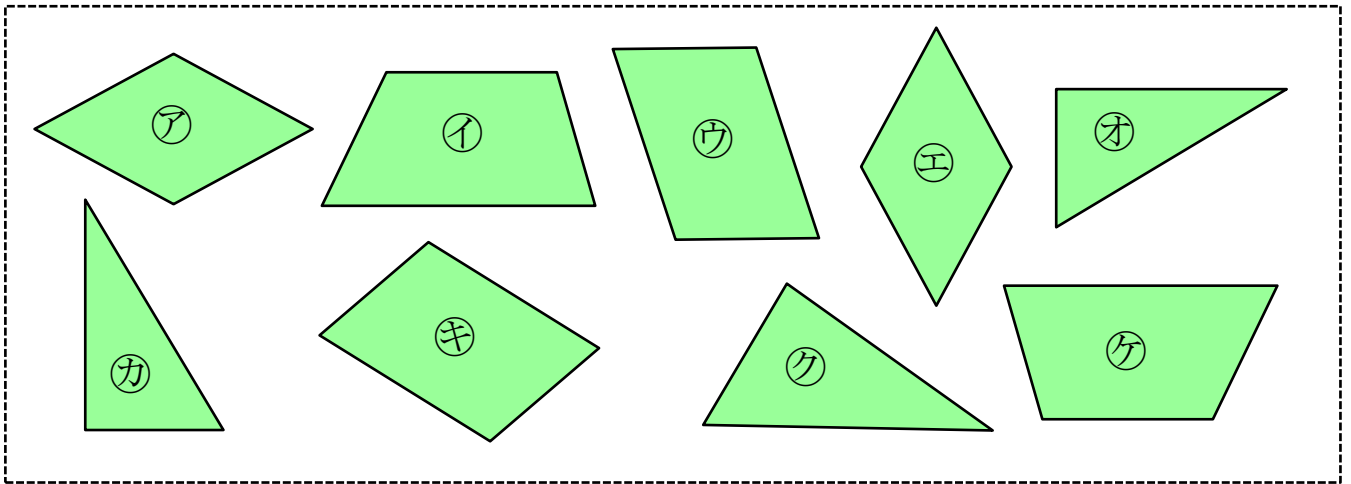


答え()



1 次の図形の中から、合同な図形をみつけましょう。

(5点×4)

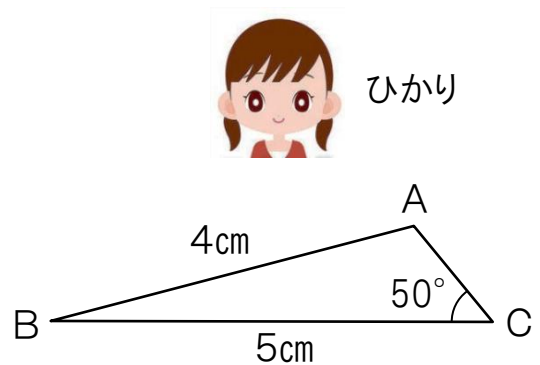
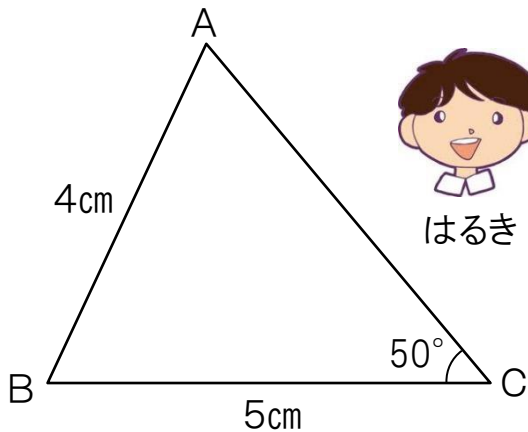


[と] [と] [と] [と]

2 はるき君とひかりさんは、ABが4cm、BCが5cm、角Cが 50° の三角形をかきました。

2人がかいた三角形は、下のようにならびになりました。そのわけを説明しましょう。

(15点)



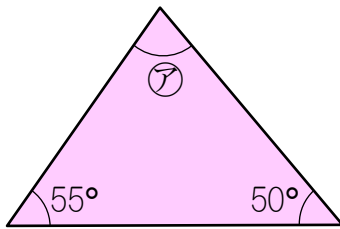
3 うらの白いページを使って、辺の長さや角の大きさが、次のような三角形をかきましょう。

(5点×3)

- ① 3つの辺が9cm, 7cm, 6cmの三角形
- ② 2つの辺が8cm, 5cm, その間の角が 120° の三角形
- ③ 1つの辺が7cm, その両はしの角が 40° の二等辺三角形

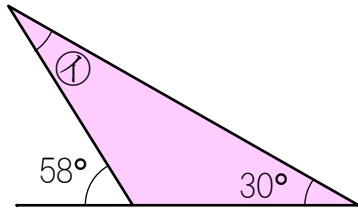
4 下の図の㉗～㉙の角の大きさはそれぞれ何度ですか。 (8点×4)

(1) (式)



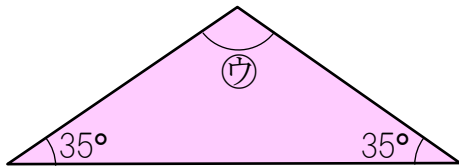
答え()

(2) (式)



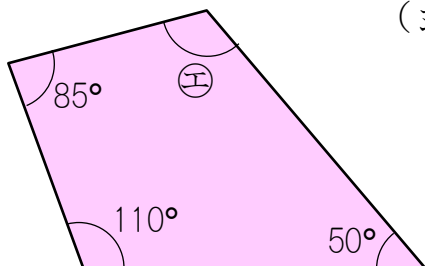
答え()

(3) (式)



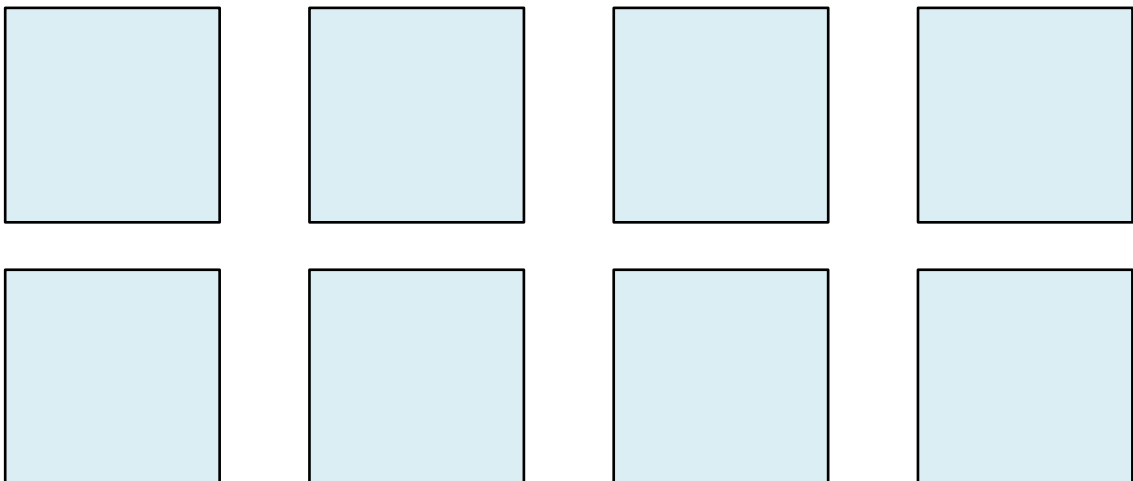
答え()

(4) (式)



答え()

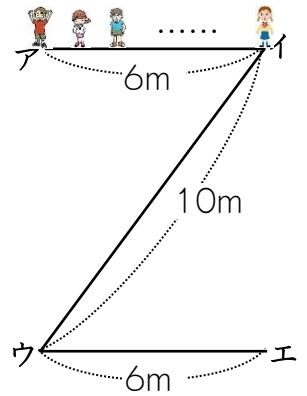
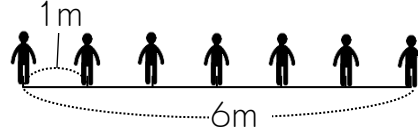
5 正方形の紙を切って、4つの合同な図形に分けましょう。いろいろな分け方を考えて、下の正方形に線をかきましょう。(4つ以上) (18点)





1 子どもが1mおきにならんで, 人文字をつります。 (12点×3)

(1) 右のような^{ゼット}Zの文字をつります。アからイまでは, 何人ならびますか。子どもの数と間の数に目をつけて考えましょう。



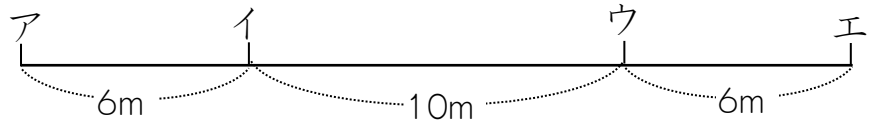
(式)

答え(人)

子どもの数は, 子どもと子どもの間の数より1多くなっています。



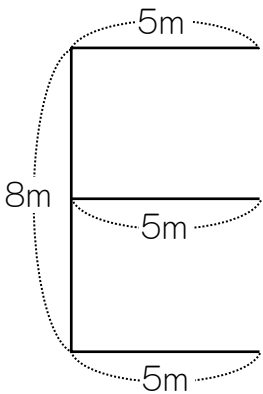
(2) アからイ, ウを通してエまでは, 何人ならびますか。下のような1本の直線で考えましょう。



(式)

答え(人)

(3) 下のようなEの文字をつると, 子どもは全部で何人ならびますか。



Eにならぶ子どもの数は, 1本の直線の場合と同じです。

(式)

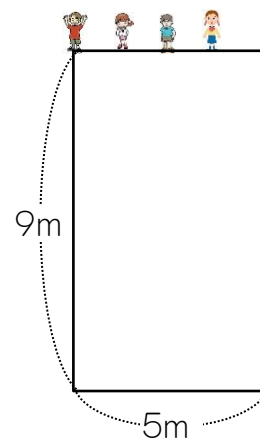
答え(人)

2 子どもが1mおきにならんで、人文字をつくります。

(12点×2)

(1) 右のような□の文字をつくります。子どもは全部で何人並びますか。子どもの数と間の数の関係に目をつけて考えましょう。

(式)



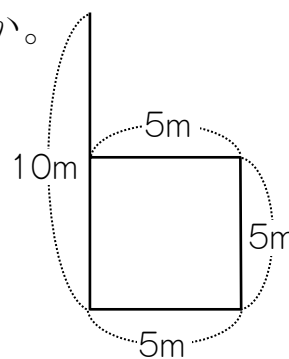
答え(人)

子どもの数は、子どもと子どもの間の数と同じになっています。



(2) 下のような□の数字をつくと、子どもは全部で何人並びますか。

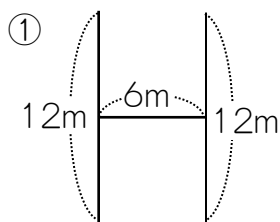
(式)



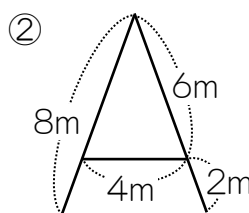
答え(人)

3 子どもが1mおきにならんで、下のような人文字をつくります。全部で何人並びますか。

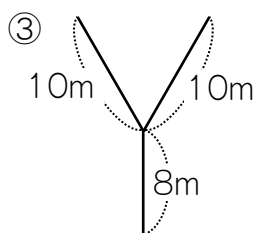
(10点×4)



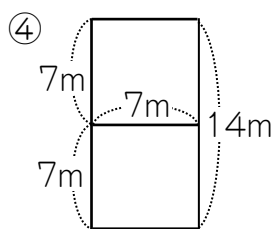
答え(人)



答え(人)



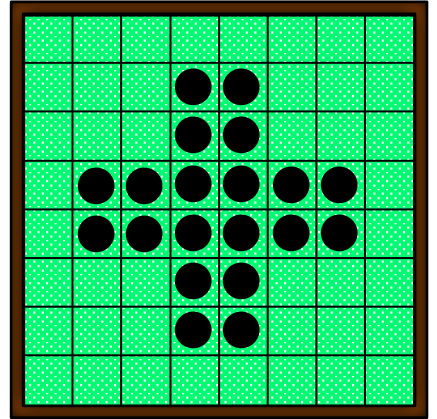
答え(人)



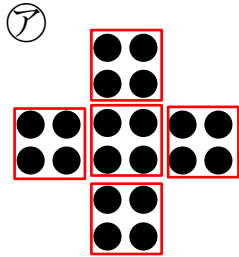
答え(人)



1 オセロばんに、黒石を右の図のようにならべました。



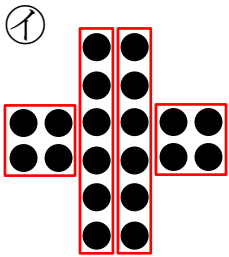
(1) はるき君は、黒石の個数を求める式を、㉞の図を使って 4×5 と考えました。はるき君の考え方の□にあてはまる数をかきましょう。(12点)



黒石 □ 個を1組としてまとめると、□ 組できます。
 だから、式は □ × □ となります。



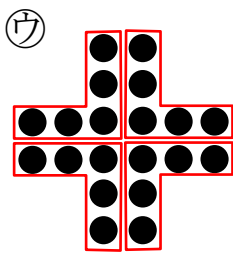
(2) ひかりさん、しずかさん、ゆうと君の3人は、㉟、㊱、㊲の図をかいて考えました。3人の考え方を表している式を下から選び、はるき君と同じように考え方の説明をかきましょう。(11点×3)



式. _____



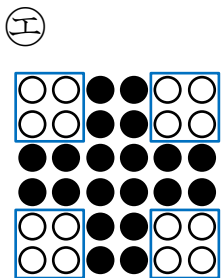
ひかり



式. _____



しずか



式. _____

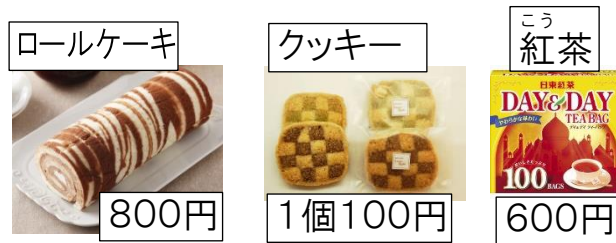


ゆうと

$5 \times 4 \cdot 4 \times 2 + 6 \times 2 \cdot 6 \times 6 - 4 \times 4$

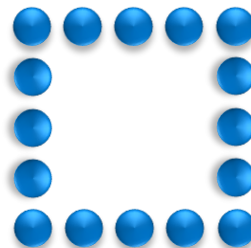
2 次の式は何の代金を表していますか。
 右の絵を見て答えましょう。(5点×3)

- (1) 100×7
 []
- (2) $100 + 800$
 []
- (3) $100 \times 5 + 600$
 []



3 ●を正方形の形にならべます。

- (1) ひかりさんは、1辺に5個ならべたときの●の数を、
 $(5 - 1) \times 4$ の式に表して求めました。どのように考え
 ましたか。□に数をあてはめて説明しましょう。(6点)



1辺から □ 個とった数を
 □ 倍しました。



- (2) ひかりさんの考え方を使得、1辺に8個や9個 ならべたときの●の数を求める
 式と答えをかきましょう。(6点×2)

1辺が8個のとき……(式) 答え() 個)

1辺が9個のとき……(式) 答え() 個)

- (3) ゆうと君は、1辺に5個ならべたときの●の数を、 $5 \times 4 - 4$ の式に表して求め
 ました。どのように考えましたか。説明しましょう。(10点)



- (4) ゆうと君の考え方を使得、1辺に7個や10個 ならべたときの●の数を求める
 式と答えをかきましょう。(6点×2)

1辺が7個のとき……(式) 答え() 個)

1辺が10個のとき……(式) 答え() 個)



- 1 24人の子どもたちが、赤組と白組に分かれてつな引きをします。カードをひいてカードの数字で下のように分けます。 (5点×4)

赤組のカード: 1, 3, 5, 7, □, □, □, □, □, □, □, □

白組のカード: 2, 4, 6, 8, □, □, □, □, □, □, □, □



- (1) 白組はどんな数の集まりといえますか。 []
- (2) 赤組はどんな数の集まりといえますか。 []
- (3) 15のカードを引いた人は、どちらの組ですか。 []
- (4) 22のカードを引いた人は、どちらの組ですか。 []

2でわり切れる整数を ^{ぐうすう} 偶数, 2でわり切れない整数を ^{きすう} 奇数
 といいます。整数は、偶数と奇数に分けることができます。
 また、0は ^{あま} 2でわったときに1余らないので、偶数です。



- 2 次の数は、偶数ですか、奇数ですか。 (3点×6)

- ① 28 [] ② 65 [] ③ 0 []
- ④ 107 [] ⑤ 680 [] ⑥ 999 []

- 3 18人がAとBのチームに分かれます。図や表を使って、次の問題を考えましょう。(6点×2)

- (1) Aの人数が偶数なら、Bの人数は偶数ですか、奇数ですか。

● ● ● ● ● ● ● ●

● ● ● ● ● ● ● ●

A	2	4	6	8	
B					

[]

- (2) Aの人数が奇数なら、Bの人数は偶数ですか、奇数ですか。

● ● ● ● ● ● ● ●

● ● ● ● ● ● ● ●

A	1	3	5	7	
B					

[]

4 高さ3cmの積み木を、1個、2個、3個、……と積んでいきます。 (4点×5)

積み木の数(個)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
積んだ高さ(cm)	3	6	9							

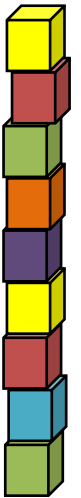
(1) 積んだ高さが何cmになるかを表にまとめましょう。

(2) にあてはまることばを、下のから選んで書き入れましょう。

① 積んだ高さは、3に整数をかけてできる数になります。このような数を、3のといいます。また、3の倍数は、3でます。

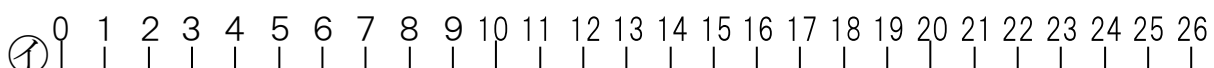
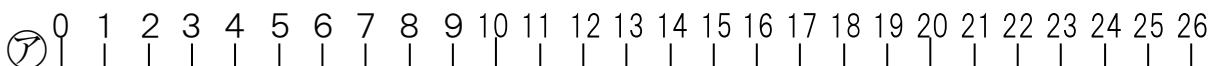
② 3の倍数は、3、6、9、12、15……とあります。

③ 倍数というときには、や、ある数の0倍は考えないことにします。



5 高さ3cmの積み木と4cmの積み木を、1個、2個、3個、……と積んでいきます。

(1) 3cmの積み木の高さにあたる数①と、4cmの積み木の高さにあたる数②を、それぞれ○でかこみましょう。 (4点×2)



(2) 上の数直線で、3の倍数にも4の倍数にもなっている数を書きましょう。 (5点)

[]

(3) 3の倍数にも4の倍数にもなっている数で、いちばん小さい数は何ですか。 (5点)

[]

(4) にあてはまることばを、下のから選んで書き入れましょう。 (4点×3)

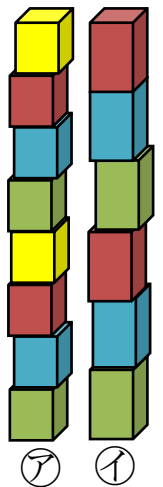
① 3の倍数にも4の倍数にもなっている数を、3と4のといいます。

3と4の公倍数は、12、24、36、48、……と いくらでもあります。

② 公倍数のうち、いちばん小さい数をといいます。

3と4の最小公倍数は、です。

こうばいすう さいしょうこうばい
12 · 公倍数 · 最小公倍数





- 1 6と9の公倍数のみつけ方を考えます。□にあてはまることばを、下の□から選んで書き入れましょう。(5点×6)

(1) まず、6の倍数を小さい順に書いていきます。次に、9の倍数を小さい順に書いていきます。すると、6と9の□である数□が見つかります。6と9の公倍数{18, 36, 54, ……}は、最小公倍数18の□になっています。

18 ・ 倍数 ・ 最小公倍数

6の倍数 ⇒	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60……
9の倍数 ⇒	9	18	27	36	45	54	63……			

(2) 大きい方の数の倍数である□を書いていきます。そして、9の倍数の中から□を見つけます。6の倍数であるかどうかは、それぞれの数を□みればわかります。

6の倍数 ・ 9の倍数 ・ 6でわって

9の倍数 ⇒	9	18	27	36	45	54	63……
6の倍数 ⇒	×	○	×	○	×	○	×

- 2 2と3と4の公倍数のみつけ方を考えます。(10点×2)

(1) 2と3と4の倍数を小さい順に書いていって、公倍数をみつけて○でかこんでいきましょう。

2の倍数 ⇒	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26……
3の倍数 ⇒		3	6	9		12							
4の倍数 ⇒		4		8		12							

(2) いちばん大きい数の倍数である4の倍数を小さい順に書いていって、2や3の公倍数であるかどうか調べていきましょう。

4の倍数 ⇒	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40	44	48	52……
2の倍数 ⇒	○	○	○	○	○								
3の倍数 ⇒	×	×	○	×									



1 たて6cm、横8cmの長方形のタイルを、右の図のようにならべて正方形をつくりたいと思います。

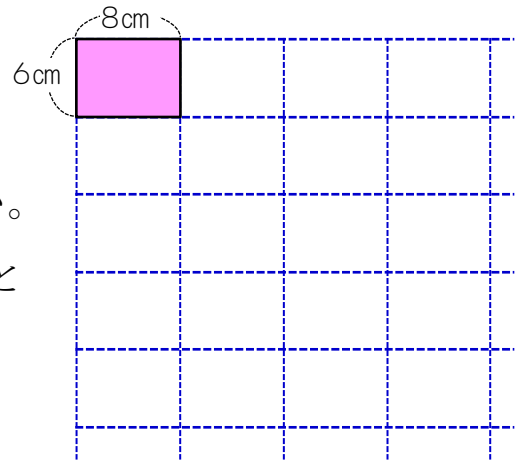
にあてはまることばを書き入れましょう。(15点×2)

(1) いちばん小さい正方形の1辺の長さは何cmですか。

【考え方】 たての長さは、6cm、12cm、18cm、24cm、……と

になります。横の長さは、8cm、16cm、24cm、32cm、……とになります。

だから、いちばん小さい正方形の1辺の長さは、6と8のであるcmになります。



答え cm

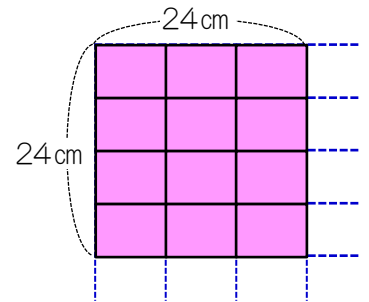
(2) (1)のとき、タイルは全部で何枚いりますか。

【考え方】 正方形の1辺の長さはcmだから、

たての枚数は、 ÷ = (枚)

横の枚数は、 ÷ = (枚)

だから、タイルは全部で、 × = (枚)いります。



答え 枚

2 上下に分かれているふん水があります。上のふん水は10分ごと、下のふん水は4分ごとに水をふき上げます。

(10点×2)

(1) 午前9時に同時にふき上げたあと、次に同時にふき上げるのは9時何分ですか。



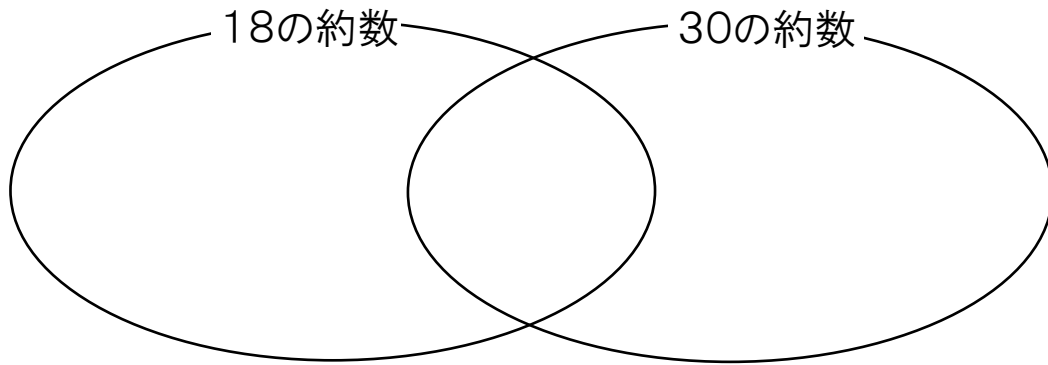
〔 午前 9時 分 〕

(2) (1)のあと、次に同時にふき上げるのは9時何分ですか。

〔 午前 9時 分 〕

5 18の約数, 30の約数, 18と30の公約数を図にかきましょう。

(10点)



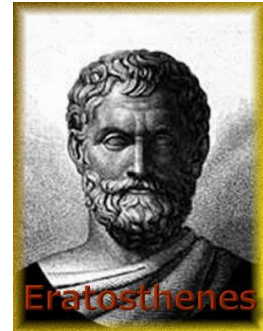
6 100以下の素数を, ㉠~㉥の手順にしたがってみつけましょう。

(40点)

エラトステネスのふるい

- ㉠ 1を消す
- ㉡ 2に○をつけ, 2より大きい2の倍数を消す。
- ㉢ 残った数のうち, 最小の3に○をつけ, 3より大きい3の倍数を消す。
- ㉣ 残りの数がなくなるまで, この作業を続ける。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100



○のついた
2, 3, 5, 7, 11, ……
は素数です。

このみつけ方は,
古代ギリシャの数学者
エラトステネスが考えた
といわれ,

エラトステネスのふるい
とよばれています。

【問い】 101, 102, 103は素数ですか。素数ならば, ○をつけましょう。

101() 102() 103()



- 1 次の数の中から、2の倍数をみつけて○でかこみましょう。(20点)

258 , 1062 , 57641 , 74446 , 845099 , 30000300

1の位が **0, 2, 4, 6, 8** のとき、2の倍数になります。



- 2 次の数の中から、5の倍数をみつけて○でかこみましょう。(20点)

386 , 7540 , 4002 , 29735 , 556677 , 87658765

1の位が **0, 5** のとき、5の倍数になります。



- 3 次の数の中から、4の倍数をみつけて○でかこみましょう。(20点)

112 , 354 , 6500 , 98668 , 700000 , 5387942

下2けた(十の位と一の位)が **00か4の倍数**のとき、4の倍数になります。



- 4 次の数の中から、3の倍数と9の倍数をみつけましょう。(20点)

681 , 504 , 3405 , 24863 , 80199 , 552765 , 8787654

各位の数の和(合計)が3で割れたら3の倍数です。

また、各位の数の和(合計)が9で割れたら9の倍数です。

(例) 8 6 6 4 の場合 $8 + 6 + 6 + 4 = 24$

$24 \div 3 = 8 \rightarrow 3$ の倍数 $24 \div 9 = 2 \dots 6 \rightarrow 9$ の倍数ではない



3の倍数〔 〕

9の倍数〔 〕

- 5 下の求め方で、2つの数の最大公約数と最小公倍数を求めましょう。(20点)

① 24, 54 → 最大公約数〔 〕 最小公倍数〔 〕

② 72, 96 → 最大公約数〔 〕 最小公倍数〔 〕

《最大公約数の求め方:連除法》

① 1以外に公約数がなくなるまで、公約数で割り続ける。

② 割った公約数を全てかける。

例. 36と48の場合

$2 \times 2 \times 3 = 12$

最大公約数:12

2)	36	48
2)	18	24
3)	9	12
	3	4

《最小公倍数の求め方:連除法》

① 1以外に公約数がなくなるまで、公約数で割り続ける。

② 割った公約数と最後に残った数を全てかける。

例. 36と48の場合

$2 \times 2 \times 3 \times 3 \times 4 = 144$

最小公倍数:144

2)	36	48
2)	18	24
3)	9	12
	3	4